

第2章 末端の住民自治組織「自治町会（町内会）」等の現状と課題に関する考察

～八幡東区中尾三丁目の住民意識調査から見えてくるもの～

1 調査の目的

急速な少子高齢化の進行や、連帯意識の希薄化・無関心化がいわれるなかで、いま地域コミュニティの末端組織「自治町会」の運営は、きわめて複雑で困難な問題を抱えている。

役員のなり手がなく、高齢で組長業務が辛い、一人暮らしや高齢者単独世帯の急増、空き家の増加、生活困窮世帯の増加、町内会の役割とは…、活動範囲や責任領域の問題、行政や他機関・団体との関係は…等々。どの現象も深刻で、住民自治組織の「あり様」に対する本質的論議と、現状打開のための当面对策を併行して取り組まなければならない状況に直面していると言えよう。

加えて、北九州方式の地域づくり方針のなかで、校区市民センターを中心にしたまちづくり推進の中核となる「まちづくり協議会」との関係、活動・業務内容の多様化も加わり、自治町会の位置づけに変化を生じさせている。

このようなもとの地域住民は、自治町会をはじめ、婦人会、老人クラブといった既存の住民組織をどのように認知し、何に期待し、何を評価し、はた、不満を持っているか等を解明し、併せて、自治町会と新たな関連性を深めている校区市民センター・校区まちづくり協議会に対する認知度・関心度・帰属意識・参加意識などを知ることによって、今後の町会運営に生かしていこうとするもの。また、これらの調査を通じて住民自治組織そのものや、住民主体のまちづくりのあり方について課題や今後の方向を探ろうとするものである。

2 中尾三丁目自治町会の概況

1. 八幡東区の東部、高槻小学校校区に位置する郊外住宅地で、東側を小倉北・南区と境界を接する山路町・大平町と東北東方向に流れる槻田川（旧、金山川）を挟んで西側の斜面に約350の主として戸建住宅が5本の谷道(市道)に沿って点在している。公共交通機関としては西鉄バスが町内の最深部を終点として荒生田・七条・戸畑方面と結び、市民センター・小学校とは徒歩で約20分以内の半径に収まっている。
2. 市の住民基本台帳による当町会の人口は410世帯・996人（2007年9月30日）であるが、市の「町・丁・字」区分と自治町会の境界の相違等から、町会加入率はほぼ90パーセント台を維持しているにもかかわらず、町会の2007年4月1日時点の現勢は312世帯・862人となっている。これは、校区まちづくり協議会を構成する4自治区会（高槻・中畑・山路・大平）の中では最も大きな町会でもある。

3. 八幡東区の高齢化率は29,0%（2007年9月末現在）で、北九州市（22,6%）で最も高く、当町内も少子高齢化の傾向が年々進行の一途をたどっている。

△ 中尾三丁目の高齢化率（人口に占める65歳以上の比率）

中尾三丁目全体 29,5%

自治町会加入者のみ 27,7%

△ 中尾三丁目の少子化率（人口に占める15歳未満の比率）

中尾三丁目全体 9,2%

自治町会加入者のみ 9,9%

4. 町の凡そ8割の世帯が急な坂道で生活しており、高齢化が進む中で日常生活はもとより、自治会活動にも少なからぬ支障が出てきている。

△ アンケートで、町会の課題として坂道の多いことをあげた人が全体の48,2%もの高ポイントとなっており、年齢層が高いほどその比率も高くなっている。

（50代：49,5%、60代：51,0%、70代以上：53,0%）

5. 自治委員も輪番制の組が多く、高齢の人が当番で組長になるところもあり、「組長がまわってくるのが怖い」という声も聞かれる。

6. 自治町会の加入率は90パーセント以上の高率を維持しているが、一人暮らし高齢者の死亡、長期入院、施設入所等は年を追って漸増しており、実質的な空き家の増加と町会加入世帯の減少が続いている。

7. 平成13年4月に校区市民センターがオープン以来、地域活動の拠点としての役割を果たすようになり、町会活動とまちづくり協議会活動の連携や調整も必要になってきている。

8. このような状況の中で、自治町会が住民自治のカナメの組織として、その機能と役割を果たしていくためには、従来にも増して住民相互の協力体制、そのための連帯・共同意識の醸成を通して、助け合い・支え合いのまちづくりが必要になってきている。各種行事・活動への積極的な参加はもとより、日常の環境美化やマナーアップ（ごみ出し・迷惑駐車・ペットの飼い方等）・防犯防災対策など、具体的な課題に対する住民相互の理解や自覚を高める取り組みも要求が高い。特に、ふれあいネットワーク事業など、高齢者や高齢世帯に対する見守り・支援の取り組みが益々重要になっているといえよう。

9. 個々の自治町会が抱える諸課題の解決のためには、町会自体の努力はもとよりであるが、問題解決をより有効に促進し、住民の生活環境改善を図るには校区自治活動の中核としての「まちづくり協議会」の役割は極めて重要。そのために、中尾三丁目自治町会では「まちづくり協議会」にバス問題などを積極的に取り組むように問題提起を行ってきている。

10. 併せて、高齢者や病弱者等、支援が必要な人達が安心して安全に暮らせるようにするには、住民自治組織の活動だけで解決できるものではなく、行政など関係機関の責任ときめ細かな対応を求め、連携を密にしながら相互の役割の棲み分けと、対等・平等の協働関係を確立していくことが必要である。

11. 自治町会と同じエリアに属性・年代別の単独組織として婦人会・老人クラブが健在で、活発な

活動を展開し、町会と連携を図りながら密接な協力関係を維持している。反面、子ども会、青年会といった地域組織は完全に過去のものとなってしまった。

3 調査方法と調査内容等

1 調査時期・方法等

- (1) 2008年1月15日から調査用紙配布、2月15日締め切りで回収。
- (2) 町会長→4つのブロック責任者（副町会長）→組長（27組）→会員家庭のルートで配布し、逆ルートで回収。
- (3) 調査対象……………20歳以上の全町会員
- (4) 回収状況……………調査対象740人、回答者596人 回収率80,54%

2 調査内容

- (1) 方式……………アンケート方式
- (2) 設問・項目……………別掲（101～103P）

4 調査結果の概要

別掲（104P～122P）

5 調査結果 若干の分析

設問1 回答者の属性・年代

- ① 町会全体の男女比は、女性54,8%（472人） 男性45,2%（390人）。そのうち20歳以上は、女性54,2%（401人） 男性45,8%（339人）となっている。
- ② 回答者の属性比較は、女性316人 男性257人 属性不記入23人で、回答率（回収率）は、女性78,8%、男性75,8%（属性不明100%）で、女性の方が3ポイントほど上回っている。
- ③ 年代別では、回答率に大きな差が認められ、20歳代の64,2%に対して60歳代は95,6%となっており、高年齢層の方が高くなる傾向が顕著である。

設問2 自治町会・婦人会・老人クラブの認知度

- ① 町会・婦人会・老人クラブの住民組織に対する認知度は「知っている」が82,4%と、「知っているものもある」を加えると92,1%に達する。
- ② これに対して「知らない」「関心がない」の合計が7,2%で、とりわけ20代では38,9%と、4割近くが無関心であることが分かる。
- ③ 男女比では「知っている」で女性の方が4,5%上回っている。婦人会の存在がどう影響して

いるか？ 無関心層は、若干ではあるが男性の方に多い。

設問 3 町会の活動で何に力を入れるべきか

- ① 男女とも、「道路・ゴミ問題など」日常生活に直結した課題をトップにあげ、2位以下に大きく水をあけている。
- ② つづいて、「少子高齢化対策」「住民相互の親睦や連帯のための行事」「地域や町の独自課題」「行政との協働による自治活動」と続き、順位には属性による大きな相違は見られないが、女性の方が「少子高齢化」を深刻に受け止め、男性は「親睦や連帯」「地域や町の独自課題」に比較的強い関心を持っていることがうかがえる。
- ③ 「少子高齢化対策」を過半数があげたのが30代女性、60代女性であったことと、30、40、50代男性のポイントが低い点が注目される。
- ④ 若年層の「親睦や連帯」のポイントが低いことと、町内行事への参加者の年齢層に偏りがみられる傾向にはそれなりの因果関係が認められるのではなかろうか。
- ⑤ 日常活動の中で時々耳にする「町会は会費の徴収や回覧板による周知活動をやっておけばよいのであって、あまり色々なことはしなくてよい」という意見が、今回の調査では9,1ポイントであった。これを多いと見るか、少ないと見るか微妙なところ。
- ⑥ 以上から見えてくることは、今日の町会に対する住民のニーズが極めて多様化し、分化していることが解るが、どの課題に、どの程度のウエートを置いて運営すべきか、どれを取っても「必要ない」と切り捨てられるものが無いだけに難しい選択である。
- ⑦ 設問4の「町会の当面の課題は何？」と総合的に見ると、より住民の意識状況が鮮明に見えてくるのではなかろうか。

設問 4 町会の当面の課題は何か

- ① 全体的に過半数を超えて最も多いのが「バス便の増発など、公共交通手段の充実」であったことは（女性1位、男性3位）意外とも見えるが、ダイヤ改正のたびに減便や路線廃止の影響を最も受けている中高年女性には、とりわけ最大の関心事であり、切実な問題であることがうかがえる。この問題は当町会から再三申し入れた結果「校区まちづくり協議会」の活動方針にようやく盛り込むことができたが、住民がまちづくりに何を要望し、どんなことに期待しているかを具体的に示す数字であるといえよう。
- ② 急な坂道に悩まされている日常生活の不便から、高齢化の進行とあいまって「坂道対策」が男性で49ポイント（第1位）、女性48,4ポイント（第3位）と、地域の地形的な特徴に対する対策の必要性をあげている。
- ③ 「高齢者への支援対策やシステム」は男女とも第2位を占め、(46,7、52,8) バス問題や坂道問題と併せて高齢社会における自治活動の重要課題を浮き彫りにしている。
- ④ 反面、次代を担う「子どもの問題や少子化対策」は「環境問題」と並んで、当面する切実な課題の影に押しやられた傾向があり、第7,8位と必ずしも高い関心にはなり得ていない。

- ⑤ このほか、「違法駐車・犬の糞・ポイ捨てなど、マナーやモラルの問題」への関心は高く、男女とも第4位で、全体でも44,3ポイントとなっている。
- ⑥ 高齢化対策等とともに日常生活に直結した「下水や道路、手摺り設置など、住環境の改善」も全体で34,1ポイントと、第5位にランクされているが、ひと頃の自治会・町会活動に比べて、他に大きな課題が増えたことで、この位置にとどまっているような感もある。
- ⑦ 「町会、婦人会、老人クラブ活動の活性化」による住民組織の強化を望む声は、男性10,1ポイント、女性9,8ポイントとなっている。
- ⑧ この設問でも、自治町会など地域組織の関わっている問題に対する住民の課題意識は、各年代を通じて多様化しており、今後の活動のあり様については多面的な分析・検討が必要と思われる。

設問5 広報活動について（広報紙3紙はどの程度読まれているか？）

※町会を通じて配布している①市政だより ②市民センターだより ③町会だより「向こう三軒両隣」の、3種類の広報紙がどの程度読まれているかについての実態を把握するための調査項目。

- ① 3紙のうち、よく読まれている順に①市政だより ②町会だより「向こう三軒両隣」 ③市民センターだよりとなっている。

全体で、「毎回よく読む」と「関心のある記事を読む」の合計は、市政だより64,3%、町会だより59,9%、市民センターだより55,7%となっており、市政だよりが広く関心を持って読まれていることが判るが、3紙いずれも住民の過半数が「読んでいる」という結果が出ている。

- ② 逆に、「ほとんど読まない」と「まったく読んだことがない」を加した数値は、市政だより16,1%、町会だより21,2%、市民センターだより21,3%で、実態を反証している。
- ③ 総じて若年層ほど「ほとんど読んでない」「まったく読んだことがない」が多く、30代の市政だよりを除いて3紙とも20代、30代の過半数以上に読まれてないことも判る。
- ④ 3紙とも属性による予想以上に大きな差があることが明らかになった。市政だよりを「読んでいる」人は女性の方が5,1%多く、「読んでない」は倍近くの10%も男性が多い。他の2紙は更に差が大きく、「読んでいる」は女性が10%前後多く、「読んでない」の方は男性が10%前後上回っている。

殆んど毎回全戸配布されている広報紙が女性に読まれ、男性に余り読まれていないという理由は何なのか…？ ※町会だよりは全戸配布と回覧板が半々程度。

- ⑤ 今回はクロス集計は行っていないが、市民センターだよりを「読んでいる」人と「読んでない」人の、属性別・年代別の認知・利用状況（設問6）を比較してみるのも意味があるのではなかろうか。

設問 6 校区市民センターの利用状況などについて

※この設問項目は、開館から7年を経過した（2001年4月25日オープン）校区市民センターに対する、当町会住民の利用度及び認知度を計るものである。

- ① 全体で最も多いのは、選挙の投票時などを除いて「ほとんど利用しない」が過半数を超えて51,5%。次いで、大きなイベントの時など「必要なときだけ利用する」の20,6%、以下「一度も行ったことがない」11,7%、「よく利用する」の7,4%、「まあまあ利用する」の4,9%、「あることを知らない」2,5%の順となっている。
- ② 「よく利用する」「まあまあ利用する」「必要な時だけ利用する」を『利用者層』とすると、その合計が32,9%であるのに対し、「ほとんど利用しない」「一度も行ったことがない」「あることを知らない」の『利用しない層』65,8%で、『利用者層』は『利用しない層』のちょうど半分という結果が出ている。
- ③ 属性による比較では、『利用者層』は女性の方が男性よりもやや上回っているが、率では大差はなく（女性35,1%、男性31,5%）、一般に言われているような「市民センターは女性の利用者が圧倒的に多い」という印象は、当町内でみる限り、男女の絶対数の相違（45対55）を反映しての相乗作用程度か…？
- ④ 年代別では、『利用者層』の率が70代以上45,7%、60代38,7%と、高齢者層が比較的高く、30代30,3%、40代で25,0%、50代24,8%の順となっており、子育て年代層が50代を上回っていて、この分野における市民センターの努力と貢献度が伺える。ここでも20代の若者の利用は1割に達していない。

設問 7 校区まちづくり協議会への参加意識・認知度・関心度・帰属意識について

※この設問は、校区まちづくり協議会に対する住民の参加度、認知度、関心度、帰属意識を問うものである。

- ① まちづくり協議会の活動・行事に何らかのかたちで「参加したことがある」と答えたのは、男性14,0%、女性13,9%、合計では14,1%に過ぎず、参加意識・関心度・帰属意識共に低迷していると言わざるを得ないのではないだろうか。（男女を合計した数字が整合性に欠けるのは属性不明者が23人いるため）
- ② 「参加したことがある」の年代別をみると、20～30代は10%未満、60代・70代以上が20%前後となっているのは、まちづくり協議会などの住民組織役員の年齢構成、イベント等への参加者層と相互関連があるものと思われる。
- ③ まちづくり協議会の存在・活動を「知っている」住民は、「参加したことがある」「存在・活動を知っている」「参加するきっかけがない」の三つを合計すると、男性が50,2%、女性60,8%、両方では56,4%と、住民の過半数に認知されていることが判る。しかしながら、知りながら「参加したことがない」人が極めて多い（男性93人・72,1%、女性148人・77,1%、合計252人・75,0%）ことの原因が「きっかけがない」以外に何なのかについても解明する必要を感じるところである。

- ④ 一方で、行政の所管部局からは「活発なモデル的なまち協」との、高い評価を受けている組織でありながら、「存在すら知らない」と答えた住民が男性30,0%、女性21,5%、合計で24,7%も存在していることをどのようにとらえるかも検討が必要だろう。
- ⑤ 「関心がない」と答えた無関心層は、男性17,9%、女性16,5%、合わせて17,4%と、いずれも、一度でも「参加したことがある」人を上回っていることと、男女合計で第1位に「存在すら知らない」、第3位に「関心がない」がランクされていることと併せて、非常に気になるところである。
- ⑥ 「関心がない」「存在すら知らない」を合わせた、いわゆる、まちづくり協議会になんらの帰属意識も持っていない住民が、男性47,9%、女性38,0%、合計42,1%にも及んでいるという現実に対しては、組織・活動両面はもとより、住民自治の“あり様”を含めた根本問題の検討が必要な時期に来ているのではないだろうか。

それは、ひとつ当校区に限らず、行政主導による住民組織再編とマニュアル型組織対応と、イベント・動員方式中心の「まちづくり」を忠実に実行してきた〈まちづくり協議会〉のかかえる共通した問題点であり、課題であるのかもしれない。

この意識調査の結果が示す実態から、「住民が主人公の住民自治とは…」「真に自立した住民組織とは…」「住民と行政の協働のあり方とは…」を考えるための、入り口のヒントが見えてくるのではなかろうか。

設問 8・9 自由意見記入欄

○設問 8 中尾三丁目自治町会・婦人会・老人クラブに対して

○設問 9 校区市民センター・校区まちづくり協議会に対して

- ① 自由意見は、設問 8・9 合わせて B 4 用紙で 9 ページに及ぶほど多数出されている。

内容は極めて多岐にわたり、好評⇔不評 感謝⇔批判 評価⇔課題指摘 改革⇔現状維持 参画⇔お任せ 個人的⇔全体的・社会的 ミクロな問題⇔マクロな問題 現象的・局面的⇔基本的・抜本的…等々、対極的な意見や提案も少なくない。

- ② とは言え、いずれも自治町会・婦人会・老人クラブ、市民センター、まちづくり協議会それぞれにとっては、貴重な意見や今後の運営のあり方を示唆する非常に重要な内容の「てんこ盛り」になっている。
- ③ 今後できるだけ迅速且つ綿密に内容を検討して、対応について具体的に住民に返していくことが必要であろう。

※自由意見欄記載内容

- ・婦人会、老人クラブ、自治町会と別々にしなくても、自治町会一つにまとめて運営したら、高齢化の中、市政だよりを配るのも大変な地区だから、例えば委託するとか、みんなで話し合ってもう少し住みよい、気楽な安心できる町にしたらどうでしょうか。〈60代・女〉
- ・葬式に町旗はいらないのでは？ 〈60代・男〉
- ・自治町会・婦人会・老人クラブ共に、諸行事活動内容をわかりやすく知らせ、参加をうなが

- し、関心が持てるように広報活動をしてほしい。〈60代・男〉
- ・婦人会の活動に参加させていただいています。旅行が楽しいです。老人会は先で入りたいと思います。〈60代・女〉
 - ・近いうちに老人会にお世話になります。〈70代～・男〉
 - ・参加したい意思はあるが、どういう活動をしているかわからない。〈60代・不明〉
 - ・お世話になります。〈70代～・男〉〈50代・女〉
 - ・自治町会・婦人会・老人クラブの皆様方に常にお世話になっておりますので、感謝いたしております。〈70代～・女〉
 - ・皆さんの活動にはいつも頭が下がります。〈70代～・男〉
 - ・皆さんよくがんばっていると思います。〈60代・女〉
 - ・今町内の役をしているので、当町内がとても良く組織され、活発に働いていると思います。〈60代・女〉
 - ・正直、どこでどんな事が行われているのか知らないで、わかりません。〈20代・女〉
 - ・婦人会の参加は1度だけしたのですが、年齢差が大きくて1人だけ離れていました。〈50代・女〉
 - ・感謝しています。会員が一人でも多くなることを希望しています。〈70代～・女〉
 - ・問題があればそれに取り組み、より良い環境になればと思います。〈30代・女〉〈30代・男〉
 - ・空き家、高齢者住居が増加しており、より多くの対策が必要。〈60代・男〉
 - ・拘束を受ける。老化が目立つ。長時間座れない。〈70代～・女〉
 - ・多忙なため不参加。〈60代・女〉
 - ・老人クラブの会長は、関係組織や団体との仲介も役目としていると思うが、その任に堪える適任者を選んでもらいたい。〈70代～・男〉
 - ・婦人会に若い方々の活動がほしい。〈60代・女〉
 - ・長い間下水道工事などしているが、工事後完全に元通りに整備されていない。市へ申し込みを。〈50代・男〉
 - ・猪倉バス停横で夜若い男等がたむろし、落書きなどしている。警察に夜間パトロール強化の申し入れを。〈50代・男〉
 - ・婦人会は若い方が入って（役員）、活動・交流されるよう期待しています。老人会の役員をされている方は名実共に活躍してください。〈50代・男〉
 - ・組長さんのお手当ては、組の世帯数を考慮して出すようにされたら如何でしょうか。軒数の多いところは大変だと思います。〈50代・男〉
 - ・自治会のことに関しては、出来るだけ協力する。老人クラブにおいては、ほどほどに協力する。〈70代～・男〉
 - ・今のままで充分だと思います。〈70代～・女〉
 - ・時々老人会の旅行に行っている。町内会の交流会には出来れば行きたい。体調のいいときは

続けて行きたいです。〈70代～・女〉

- ・猪倉バス停上（都市高横から下）側溝工事で手摺を外したまま、雪が少しでも積もると歩いて上り下りできない。何故付けないのか?! 〈50代・男〉
- ・自治町会・婦人会・老人クラブの各役員の皆様の活躍、本当にご苦労様です。それぞれ役員を経験した人でなければわからない長所、短所が多々あること、その身になれば充分気持ちがわかると思います。昨年1月・8月と借家の方が死亡、町内会役員、民生委員の熱心なお世話になり本当にありがとうございました。今年に入り又民生委員、幾度も訪問をしていただきました。区役所職員と親身な心使いで大事に至らず結着が付き、ホッとしています。〈60代・男〉
- ・火の用心で、夜回ってもらうのはありがたい。夜中（0～1時）携帯電話ですっと話している若者がいて気持ちが悪い。午後10時ごろ車から降りようとするのと近づいてきたので、遠回りして車から降りた。（10代後半～20代前半）〈60代・女〉
- ・いろいろな行事に参加して楽しみたいと思います。〈70代～・女〉
- ・老人会の活動に新会員を積極的に入れるべきだと思う。〈60代・男〉
- ・婦人は会員は多いが参加する人は決まっているみたいなので、もう少し何かないだろうか。老人クラブは、行事のわりに会費が高いのではないか。〈60代・女〉
- ・何かと気を配ってよくやってくださっていると思います。〈70代～・女〉
- ・婦人会の方々、時々立ち寄り声をかけて下さり、ありがたく思っています。〈70代～・女〉
- ・盆踊り大会ですが、子どもが大きくなるとなかなか行く機会が減ってきます。大人でも参加できるように、何か良い方策はないか…おばさんパワーに負けて入っていきません。〈50代・男〉
- ・中尾三丁目は坂道が多く、年々高齢化してきており、これから引っ越しや、老人ホームなどに移られる方も出てくるかもしれません。バスの増便など、この地域で暮らしやすい環境を作っていきたいですね。〈30代・女〉
- ・老人クラブの古紙回収はとても助かっています。今後とも続けてください。〈70代～・女〉
- ・高齢者が多数参加できるような行事の企画をよろしくお願ひしたいです。〈70代～・女〉
- ・高齢者や弱脚者も多数参加できる行事の企画を、送迎も含めてしてほしい。〈70代～男〉
- ・感謝しております。〈70代～・男〉
- ・高齢者が多い中で、ふれあいネットワークの活動は大変だけど素晴らしいことだと思います。〈50代・女〉
- ・婦人は若い方もご活躍を。〈70代～・女〉
- ・もっと若い人や女性が積極的に役員等をやってもらいたい。〈60代・男〉
- ・道路の落ち葉などがたくさんあり、それを入れる緑のゴミ袋を定期的にいただきたい。誰に伝えてもらえばよいのか？ 冬場は特に多く、自己負担で市の袋を買い、使用しています。〈30代・女〉
- ・町内の街灯がずっと2ヶ月も消えたままのところがあります。夜はとても危ないと思いま

- す。〈年代・性別不明〉
- ・それなりに活躍されていると思います。〈60代・男〉
 - ・小学校の活動を通して老人会・自治会など、多数の方のお世話になっており、大変ありがたいかと思っています。お年寄りの方が若い方よりも活発に動いておられるので、見習わなくては…と思います。〈30代・女〉
 - ・実際にどういう活動をされているのか知らない。〈60代・不明〉
 - ・老人クラブ、婦人会を一本に。〈60代・不明〉
 - ・特に一人暮らしのお年寄りが、もっと参加できる雰囲気作りを考えてほしいと思います。〈50代・不明〉
 - ・市の下請けのような活動は最低限にしてもらいたい。〈60代・男〉
 - ・どのような活動をしているかわからない人がたくさんいると思います。活動内容を紹介したらよくわかるのではないかと思います。〈70代～・女〉
 - ・ガードレールのついた坂道です。(120～130m) 右側が二丁目、左側が三丁目です(自分の家)だけです。タバコのポイ捨てで3～4年前に立枯れの草が燃え、通りがかりの人3人でバケツリレーで消したことがあります。長い道を掃除してもすぐに犬のフンが2、3箇所にあります。ステッカーを貼ってもいたちごっこですよ。町内で看板を建てて下さい。市の土地で年1回の草刈だけです。木も切ってほしいです。落ち葉もすごいですよ。〈70代～女〉
 - ・自治町会とまちづくり協議会の区分がわからない。〈70代～・男〉
 - ・宗教法人である神社の行事にどこまでタッチするのか、町内会としてけじめが必要ではないか。〈60代・男〉
 - ・おじいちゃん・おばあちゃんと子どもたちが一緒に参加できるイベントがあるとよいと思います。〈30代・女〉
 - ・自治会・婦人会・老人会がなくなると親睦・ご近所のお付き合いがなくなるので必要と思います。〈70代～・女〉
 - ・仕事をしているので、参加する時間もないので、いまは関心ありません。〈40代・女〉
 - ・今の状態でよいのではないか。必要な人が入って活動する。〈70代～・男〉
 - ・ほとんど関心なし。〈60代・女〉
 - ・庭で草や木など燃やす人がいる。煙がひどく窓があげられない。〈60代・女〉
 - ・道路を広くしてほしい。〈30代・男〉
 - ・地元の人たちだけの自治会のような気がする。会長や役員たちの顔も知らない。婦人会、老人クラブ等も気楽に参加できるような体制を作ってほしい。〈60代・男〉
 - ・老人クラブは、たとえば公園に花を植えるとか、何かのスポーツをするとかの活動をしてはどうだろうかと思います。〈60代・女〉
 - ・回覧板の横幅を狭くできませんか？ 雨天時ポストに入り切れなくて濡れています。〈60代・男〉
 - ・良いことだと思っている。〈60代・男〉

- ・寄付は年間分をまとめて徴収するか、町会費の中に算入して、そのつど集めてまわる手間を省くようにしてはいかがでしょうか。〈50代・女〉
- ・町内会が時代の流れに即していないとよく考える。そういう中で、おそらく町会長が書かれていると思われる「向こう三軒両隣」のみが、ニーズに即した町内での現代的な取り組みなどと、常々評価している。三丁目町内会は完全な高齢社会なので町内会として取り組むことには限度があるのではないかと…そこを考え直して改善していかないと「町内会」という看板がだんだんと重荷になってくるだけに終わると思う。例えば、赤十字の募金は戦後から始まり長い歴史があると思うが、あれをずっと町内会が担うべきものだろうか？ 回覧板の中に福祉協議会の購入物品案内がくるが、あれを買われていらっしゃる方はおられるのか？ 回覧板は安否確認もかねてが建前だが、現状はポスト内や玄関横に野ざらしで放置されている。手渡しをされていない。それならば月1回にしてはどうか？ など、見直しを考える必要があると思う。〈50代・女〉
- ・3-1組から得明寺上に通じる縦道は全くの草茫々である。通勤に上の方が数名利用しているが、女性の方は得明寺の境内を通るようにしてほしい。二度ほど私が草刈りをしたがタバコの吸殻もあり、防災・防犯上も好ましくない。こういう所こそ町内会の力で改善すべきでは…本来は土地の持主がすべきこととは思いますが…。〈50代・男〉
- ・役員の皆様の熱心さがよく伝わってきます。〈50代・男〉
- ・昨年より時間がなくなり参加できなくなりましたが、先輩にいろいろ教えていただき楽しいことがたくさんありました。機会があったら又教えていただきたいと思っています。〈50代・女〉
- ・市政だよりや回覧板のまわってくるのが遅い。〈60代・女〉
- ・年に一度の敬老会で大変お世話様になり心からお礼申します。又、隣近所の皆様に大変よくして頂いて、一人暮らしでも安心の毎日を送っています。〈70代～・女〉
- ・仕事をしているので中尾での活動に参加するチャンスが今はありません。これから考えてみたいと思います。〈70代～・男〉
- ・毎年日帰り或いは一泊懇親旅行を続けてもらいたい。年1～2回の囲碁・将棋大会（町主催、有料1000円まで）を希望したい。〈70代～・男〉
- ・マンネリ化して進歩がないと思う。〈不明・女〉
- ・まちづくり協議会のアンケート結果はどうなっているのか？ できたら「向こう三軒両隣」でお伝えください。〈50代・女〉
- ・ごみのネットは、各自気が付いたら片付けるようにしたらどうでしょうか。〈60代・女〉
- ・活動状況、ニュース、メンバー、構成組織等の情報が入りにくい。活発な人はどこでも顔を出すし、出る人が、嫌いな人が必ず存在する。人前に出たくない人（私も含めて）が多くなっている気がする。こういう人をどう参加させ、好きな行事でも参加できる地域づくり、今後大事になると思う。〈60代・男〉
- ・町内会…老人が多くなって組長をやれない人が出てきているので、組長の仕事を減らして

ほしい。市政だよりなどは業者に受け合わせたらどうか。神社の件も氏子に任せてほしい。

<60代・女>

- ・組長のする仕事を少なくしてほしい。神社の物売りが多すぎる。<40代・男>
- ・組長が廻ってくるのがいやらしい。共働きをしているので組長の仕事を減らしてほしい。交通共済の集金・神社の集金はやめてほしい。<40代・女>
- ・①組長の最低の職務は何と何かを考える時に来ている。②役員を選考をどうして行くか。③町内会の最低限度の仕事はどの範囲まで必要か。④高齢化社会にどう対処するか。①に関係する組長をできる世帯が減っている。⑤余裕のある行動で楽しく過す。<70代～・男>
- ・婦人会や老人クラブに入会する年齢制限を知らないなので、センターだより等で広報してください。<60代・男>
- ・地域のためにどういう活動をしているのか、もっと住民にPRするとよいと思う。<60代・女>
- ・犬を飼うのは自由ですけど、常識のある飼い方を一番にお願いしたいと思います。<70代～・女>
- ・イベントの参加に心がけます。<70代～・男>
- ・町会・婦人会・老人会などがあることによって地域の活動ができていますので、大切にしていかなければならないことだと思います。

お年寄りががんばっているのだから、若い者もこれからがんばるべき！！<30代・女>

- ・ご苦労様です。<50代・男>
- ・たいへん献身的にお世話いただいているので、感謝しています。<70代～・女>
- ・幅広い意見や提案を取り入れること。<70代～・男>
- ・現状のままで充分だと思います。<70代～・女>
- ・基本的には、関心のある人々が自主的に参加して運営していくのが良い。積極参加、推進する人々と要請されれば参加する程度の人々とのミックス型になるのではと思う。事務局があまり振りかぶらずに、地味に活動する程度が結局は長続きするのでは…。<70代～男>
- ・皆様方がいろいろは活動をされているので感謝しています。<70代～・女>
- ・いろいろされていると思いますが、病人をかかえていてなかなか思うように行けない。<70代～・女>
- ・現在忙しくて、どういう活動などをしているのかさえ知りません。<40代・女>
- ・七条・荒生田方面への（循環バス等）交通アクセスの充実を早急に取り組んでいただきたい。<30代・男>
- ・市民センターに行く人は役員さんやイベント・行事に携わっている人、又、クラブで利用している人以外の人には特別出かけていないのでは？また、行こうと思っても身体的に行くことができない人、また、何も参加していなくても気軽に茶飲み話でも出来る場所にしてほしい。<60代・女>
- ・西鉄や南興タクシーと話し合い、坂道の家の前まで車が来るような方法はないでしょうか。

<60代・女>

- ・まちづくりの方も、町内全体を見て、「こんな町・あんな町に住みたいと思うような環境を作るようにしたら（将来の夢かもしれませんが）どうでしょうか。〈60代・女〉
- ・市民センターで行われるクラブ活動、講演会等、広報活動を活発にしてほしい。（何を教えているのか、自分も利用できるのかがわからない）〈60代・男〉
- ・古紙回収のときだけでなく、他の行事の時もマイクによる呼びかけが必要ではないか。〈60代・男〉
- ・センターをよく利用させていただいております。皆様と声かけをさせていただき、気持ちよく挨拶出来てうれしいです。いろんなことを学び、吸収し、自分のため、地域のために少しでも活動に参加して行きたいと思います。〈60代・女〉
- ・坂道があるので、少しでも道を広げて歩きやすくしてほしい。〈70代～・男〉
- ・こちらから積極的に参加しなくてはいけないと思うが、なかなかふんぎりがつかない。呼びかけをお願いしたい。〈60代・不明〉
- ・中尾1号線道路両脇の竹林に大小ごみの不法投棄が再三されている。市環境局、警察、土地所有者等の関係者と合同協議して改善できないだろうか。〈70代～・男〉
- ・大変お世話になっております。今後ともよろしく願い申し上げます。〈70代～・女〉
- ・いつも大変お世話になっています。これからも益々のご発展をお祈りします。〈70代～・男〉
- ・とても地区の人たちの活動の拠点として、よい活動をしていると感謝しています。〈60代・女〉
- ・とても感謝しています。〈60代・女〉〈70代～・男〉
- ・行事が多すぎると思います。〈40代・女〉
- ・どこでどんな事が行われているのか知らないので、わかりません。〈20代・女〉
- ・懸命にお骨折りいただいていることに感謝し此の地に住む幸せを感じています。〈70代～・女〉
- ・問題があればそれに取り組み、より良い環境になればと思います。〈30代・女〉
- ・社会福祉協議会は従来と違うきめ細かい対応を必要とするのでは…。〈60代・男〉
- ・活発に活動してください。〈70代～・男〉
- ・先月引っ越してきたので、まだよくわかりません。それから、少しだけ町内を散歩してみたのですが、目印になるものが少ないので、詳しい地図があるといいなあと思いました。〈30代・女〉
- ・最近引っ越してきたため、よく解りませんでした。〈40代・男〉
- ・市のやり方は不公平です。荒生田の市長さん宅周辺だけずば抜けてきれいにして、私たちの町はいつも後回しで、お金がないと言います。〈70代～・女〉
- ・何かといろいろの行事があるとのことですが、少し多いとの声を耳にしました。家庭を一番、自分の出来る範囲で協力します。〈60代・女〉

- ・自分で出来るぐらいの範囲で協力する。〈70代～・男〉
- ・高槻は昔から高槻村と言われ、環境・土地・人情が優れていて住みよい所。(中畑・山路・大平・中尾1、2、3)他のセンターに負けないと思います。まちづくり協議会、委員各自まとまって活躍していること、生涯学習を学んだ私にとってもうれしく思います。力強く、一丸とまとめて進んでいます。今後の発展をお祈りいたします。〈60代・男〉
- ・バス便の増発がどうかならないものか。〈60代・女〉
- ・階段から階段の間に渡れるようにして頂けたらいいがと思います。〈70代～・男〉
- ・関心を高めたい。〈70代～・女〉
- ・まちづくり協議会の行事と自治会の行事、取り組みを考えると自治会の役員がいなくなるのではないのでしょうか。出ごとが多いと思いますがいかが…。〈60代・男〉
- ・市民センターもまちづくりも、もっと若い人が集まるようになったら良いなと思う。〈60代・女〉
- ・あまり行っておらず、よくわかりません。〈70代～・男〉〈70代～・女〉
- ・川の草刈りをこまめにしてほしい。〈40代・女〉
- ・まだ仕事をしているので、いろんな行事に参加は出来ませんが、辞めたら参加したいと思っています。〈30代・女〉
- ・日夜のご活躍感謝しております。高齢者対策よろしく申し上げます。〈70代～・男〉
- ・バス便の増発をぜひ検討していただきたいです。〈50代・女〉
- ・急な坂で大雨のときの対策が必要なところと、道路幅を広くしてほしいところがあります。〈60代・男〉
- ・まちづくり協議会は同じような年代の人の仲良しクラブのようにになっているが、もっと、若者・壮年・高齢者・男女がバランスよく役員会を構成して、民主的に運営すべきではないか。〈60代・男〉
- ・「がんばっちょる」と思います。〈60代・男〉
- ・まちづくり協議会の役員は町会・区会の役員にならないように。そうしないと町会役員になり手がない。〈60代・男〉
- ・仕事をしているとなかなか利用することができない。活発に活動されていることはわかっています。〈40代・女〉
- ・クラブの活動内容がよくわからない。〈60代・不明〉
- ・実際にどういう活動をされているのか知らない。地域にどうかかわっているのか。〈60代・不明〉
- ・駐車場が狭いので広くしてほしい。行事が多が活動の証し。〈60代・不明〉
- ・まちづくり協議会と区会の関係が不明確。どこが違い、どちらがうえなのか？〈60代・男〉
- ・市民センターの活動は「たかつきだより」によってよくわかります。このような多くの催しで職員の方、関係者の方、大変ありがとうございます。まちづくり協議会の活動内容を多くの方がわかりますようご紹介してください。関係者の皆様、いつもお世話様になりまして誠

に有難うございます。〈70代～・女〉

- ・日頃からお世話になりありがとうございます。バザーや地域祭りなど親子でとても楽しみにしています。他の地域の友人も“すごいねえ・・・”と感心していました。これからも出来るだけ参加したいと思います。〈30代・女〉
- ・イベント中心のまちづくりでいいのでしょうか。もっと地域の課題にじっくり取り組んでもらいたい。〈60代・男〉
- ・側溝、道路等、補修が必要な所、早く対処してほしい。〈20代・女〉
- ・里山の活動は地域の特長を活かしたすばらしい取り組みだと思います。〈60代・男〉
- ・一部の人たちだけの運営でなくて、参加したくてもできない人等への具体的な呼びかけをしてほしい。〈50代・男〉
- ・まちづくり協議会は地域のどのような団体や人でも入れるのでしょうか。入れないなら一部の人たちの団体ですか。〈60代・女〉
- ・センターはいろいろなイベントがあるので子どもも喜んで参加しているのでよいと思います。〈30代・男〉
- ・センターでフリーマーケットなどがあると良いと思います。〈30代・女〉
- ・もっといろいろ知らせてほしい。〈60代・男〉
- ・市民センターには、行ってみたいと思う行事もありますが、老人になり過ぎて、思うだけで終わっています。〈70代～・女〉
- ・古紙回収等、いつもありがとうございます。〈70代～・男〉
- ・共によくやって戴いていると思う。このまま続けてほしい。〈70代～・男〉
- ・バス増便のアンケートをとったが、その後どうなっているのか何も知らされない。まちづくり協議会は市役所や西鉄に本気で交渉する気があるのか疑問です。お祭りには熱心なようですが…。〈40代・男〉
- ・子育て支援とかは良いことだと思う。利用する人は同じ人で利用の目的が違うのでは？〈不明・女〉
- ・バス問題等のアンケート結果はどうなっているのですか？〈50代・女〉
- ・入りやすいセンターです。〈50代・女〉
- ・一生懸命活動されていると思う。よくわからないのは自分が積極的でなく、悪いのだろうと思っている。何もしていないのはやはり自分のPRなく、情報も入らないということは、人も近寄らなくなるのでは、そういう人が最近増加しているのでは…。〈60代・男〉
- ・市民センターは地域の人が趣味を楽しむのはいいが、行事が多すぎる。まちづくりは各町内の困ったことを市に全町内で請願してほしい。〈60代・女〉
- ・センターの行事が多すぎる。〈40代・男〉
- ・たずさわりたい人で行動すれば良いと思う。無理に町内会から引き出す必要はない。町会をどう運営していくべきかの転換期に来ている。今、皆の知恵を集合して改革された町内、市民センターにしていけばよい。〈70代～・男〉

- ・センターは必要ない。〈40代・女〉
- ・市民センターが地域住民の幅広い利用者を作るため、常連利用者を通じて各種行事をPRしてほしい。〈60代・男〉
- ・中畑の交差点（五叉路）の信号設置を運動してほしい。〈60代・女〉
- ・一部の人だけでなく、皆が気楽に利用できるような市民センターにしてほしい。〈60代・女〉
- ・市民センターの職員の方達が皆気持ちの良い人々なのでとても利用しやすい。〈50代・女〉
- ・今度の館長さんは市民センターの役目を良く理解していてとてもよいです。ずっと高槻にしてください。〈60代・女〉
- ・古紙回収、大変ありがたく思っています。ゴミ袋の配布も助かります。〈40代・女〉
- ・センターで老人向きの針仕事があればと思います。〈70代～・女〉
- ・市民センターには今はまだ子どもに関することでしか利用しないけれど、とても大切な場所。センターがあるから町の人達は元気です。〈30代・女〉
- ・高校の時市民センターをよく利用させていただき、ありがとうございました。遅くまで開館しているので勉強するのに助かりました。〈20代・女〉
- ・夜、市民センターで勉強させてもらったことが大学進学に役立ち、有難く思っている。〈20代・男〉
- ・よく活動されていると思います。〈70代～・女〉
- ・一部役員だけの利用施設ではなく、多数の住民の利用に努力すること。〈70代～・男〉
- ・事務局があまり振りかぶらずに、喜んで自主的に参加・運営する程度にするのが望ましいと考える。〈70代～・男〉
- ・皆様方がいろんな活動をされているので感謝しています。〈70代～・女〉
- ・町内全員が参加できる運動会（スポーツ大会）等検討してください。〈50代・女〉
- ・自治体（行政）に協力することはよいが、下部組織ではない。〈70代～・男〉 ※この意見は設問3の末尾に記入されていた。

6 事後対応と、その後の「途中経過」

1 プロジェクトチーム設置

中尾三丁目自治町会では、意識調査で得られた結果と、その分析に基づいて、住民の意見や要望・提言をどのように生かして、町会運営の具体的な改善・改革を進めるかを検討するプロジェクトチームを設置して、調査後の事後対策に臨んだ。

(1) プロジェクトチームの編成

中尾三丁目自治町会会長

中尾三丁目自治町会副会長

中尾三丁目自治町会会計監査

中尾三丁目自治町会相談役（プロジェクト代表）

中尾三丁目婦人会会長

中尾三丁目老人クラブ会長

中尾三丁目老人クラブ会長

中尾三丁目自治町会歴代役員代表

(2) 会議開催経過

第1回 9月17日（水） 8人中8人出席

第2回 11月21日（金） 8人中8人出席

第3回 12月15日（月） 8人中8人出席

(3) 議題及び審議内容

※省略

(4) 答申内容決定の方法

多数決 全員一致 その他の方法

2 「答申」と町会の対応

プロジェクトチームは全員一致でまとめた「答申書」を作成し、2008年12月自治町会に提出。自治町会は拡大役員会に諮って答申を全面的に承認し、直ちに関係方面への手続きと全住民への経過報告に着手した。答申内容の骨子は次の通り。

(1) 答申の骨子

1. 各種募金、寄付金、掛け金等の取り扱い業務のうち、改廃を検討する必要があるもの
 - (1) 取り扱い中止の方向で検討を要するもの
 - ① 共同募金
 - ② 神社奉賛金
 - ③ " 大麻・暦等販売
 - ④ " 施設維持や上級神社への奉納金寄付
 - (2) 部分的に取り扱い方法変更（中止）の方向で検討を要するもの
 - ① 交通共済（掛け金の集金中止・納付方法変更）
2. 前項以外で、主として組長業務の軽減を目的に取り扱い改廃の検討が必要なもの
 - (1) 福祉関係物品販売の資料配布引き受けを中止する方向で関係団体・機関との手続きを進めること。
 - (2) 募金・寄付金等の集金方法は従来通りとするが、各組において構成員全員一致で、他の徴収方法をとることは容認する。
3. その他「具体的対応が必要なもの」を含む、諸事項への対応
 - (1) 行事や活動のあり様に関するもの
 - (2) 組織や活動の内容に関するもの
 - (3) 広報・情報活動に関するもの
 - (4) 婦人会・老人クラブの活動に関するもの
 - (5) 身近な住環境問題に関するもの
4. 調査で出された「意見」等に対するコメントについて
※省略

5. 関係機関・団体に関する事項の取り扱い

(1) 調査項目の「設問6・校区市民センター」に関する事項

町会として、校区市民センターに対し、資料を添付して正式に文書で「お知らせ」する。

(2) 調査項目の「設問7・校区まちづくり協議会」に関する事項

町会として、校区まちづくり協議会に対し、資料を添付して正式に文書で「お知らせ」する。

6. 町民への周知

できるだけ、迅速・的確に全会員への周知徹底をはかる。

(2) 答申理由の説明

1. 具体的な対応が必要なもの

○ 行事や活動のあり様に関するもの

この項は多岐にわたる意見・問題提起・指摘が出されていますが、特に、町会活動の合理化、高齢化に伴う組長業務の軽減化、関係機関・団体との関係のあり様と業務の適正化など、具体的な対応を望む声も少なくありませんでした。慎重に協議の結果、第一段階として当自治町会レベルで次のように整理し、対処していくこととしました。

1) 各種募金・寄付金・掛け金等の取り扱い業務について

(1) 現在町会として取り扱っているもの

①合同盆踊り大会 ②日本赤十字 ③交通共済 ④まつり起業祭 ⑤共同募金

⑥歳末助け合い募金

神社関係のものとして ⑦玉替え券頒布 ⑧夏越祭人型人形 ⑨神社大麻・暦販売⑩奉賛金 ⑪施設維持や上級神社への奉納金寄付（不定期）

の、10～11種類です。

(2) このうち、当町会として

①当然、継続して取り扱っていく必要のあるもの。

②意見は分かれているが、当面継続して取り扱わざるを得ないもの。

③住民自治組織の業務として取り扱うことに疑義や問題があると判断せざるを得ないものに分け、③については、取り扱い中止の前段手続きとして、関係先に対して文書で検討・善処方を申し入れることにします。

(3) 前項の③に該当するもの

ア. 交通共済掛け金…本来事業主体自身による全面的な事務執行が本筋と思われますが住民の多数が加入しているという現実や公共性を考慮して、町会として事務の一部は取り扱うが集金・納付事務は、納金方法の変更等により事業者の方で行うよう申し入れ、町会業務から切り離す方向で話し合います。

イ. 共同募金…長い歴史を持った募金であり、社会の各所（職域・公共施設・官公署・民間団体・街頭等）で広汎に実施されており、重ねて居住地での取り組みが必要不可欠なのか？検討の時期に来ていると思われますので町会業務から除外する方向で提案します。

ウ. 神社関係について…基本的には、多様な思想・信条の住民が寄り集まって組織されている住民自治組織においては、政治的・宗教的な中立と各人の自由が保障されなければなりません。もとより、現在行われている神社関係の寄付等においても、基本的原則を尊重することを前提に住民其々の判断によって、その対応の自由が保障されていることは周知の通りです。

しかしながら、古来からの日本社会における「氏神さま」と「地域集落」の関係において、宗教色とは異なる生活文化や暮らしのしきたりの中に「神社・鎮守の森・お祭り」との深いつながりの存在することを十分に理解しながらも、住民自治組織である町会として組織的に対応するに当たっては、宗教・宗派間の平等性、宗教法人固有の活動領域にまで踏み込むことの是非等をふくめて、住民全体のコンセンサスを得るという民主性が忘れられてはなりません。

以上のことを考慮した上で、本町会としては、次の寄付金・募金等については、宗教法人・乳山神社の組織内で処理していただくよう、検討をお願いすることにしました。

- 神社大麻・暦等販売
- 奉賛金
- 施設維持や上級神社への奉納金寄付

2) 福祉関係物品販売の資料配布

その、絶対的必要性を疑問視する意見で一致しましたので、取り扱いを中止したい旨を高槻自治区会を通じて申し入れします。

なお、中止理由の中には、数多い福祉関係団体の中で特定団体だけを取り扱うことへの疑問や、高齢組長から取り扱い上の困難性が指摘されていることも含意しての決断です。

3) 募金・寄付金等を町会費の中に一律加算して徴収し、組長業務の簡素化を図っては…という提案について

募金・寄付金等が例外なく任意によって行われているため、一括徴収することによって、全会員が無条件に(強制的に)拠出せざるを得ないことになる事態は好ましくありません。

従って、町会としては従来通りの方法でお願いしたいと思います。ただし、組常会等で構成会員全員一致で「組」として行う場合はその限りではありません。「組」の意思決定を尊重させていただきます。

○ 組織や活動の内容に関するもの

- 1) 回覧板が有効に機能するように改善を求める意見がありました。どこをどのように改善できるかを含めて検討を進めていきます。
- 2) 町会・婦人会・老人クラブの行事・イベントの充実を求める積極的な意見に、具体的にどのように応えていくか行事の内容を引き続き検証していきます。

○ 広報・情報活動に関するもの

- 1) 町会だより「向こう三軒両隣」や「センターだより」で、できるだけきめ細かに情報伝達につとめているところですが、まだまだ、不十分・知らない・わからないといった指摘もあります。今後とも充実につとめてまいります。お知らせはできるだけ家族の方全員が読まれるようにご協力をお願いします。

○ 婦人会・老人クラブ活動に関するもの

- 1) 老人クラブ・婦人会の会員になる場合の年齢制限に対する質問がありました。
老人クラブ…60歳以上ならどなたでも
婦人会………特に年齢制限はありません
- 2) 老人クラブは公園に花を植える等、積極的な活動を訴える意見もありました。早速そのような取り組みを計画中です。

○ 身近な住環境問題等に関するもの

- 1) 下水道工事関係
調査時が下水道の換管工事と重なったこともあって、工事に対する注文・苦情・不便の訴え・修復への心配などの指摘が複数出されていました。工事も概ね終了して、住環境の整備は着実に前進していると思いますが、なお、問題のある箇所等にお気付きの方はご連絡ください。
- 2) 不法投棄や犬の糞に対する対策
2箇所看板を増設しました。しかしながら、それだけではこの問題はなかなか解決しません。町会としても、引き続きマナー・モラルの向上を重要課題として取り組んでいきます。
- 3) ボランティア袋について
公共の道路や公園等を清掃される場合は無料のボランティア袋を用意してあります。役員までご連絡ください。
- 4) 防災・防犯対策等
関係機関(警察・消防・区役所等)とも連絡を取りながら取り組んでいます。具体的に指摘のあった所については再確認していきます。

5) バス便の確保、荒生田バス停の待合所設置等について

校区まちづくり協議会に問題提起して、校区全体の課題として取り組んでいます。荒生田バス停問題については一定の見通しもついて早期着工を陳情するなどの経過を「向こう三軒両隣」でもお知らせした通りですが、署名運動など今後とも皆様のご協力をお願いします。

6) 猪倉バス停上の手摺りの設置

設置が完了しています。

2. 意見等に対するコメント・紹介のみのもの

※省略

3 取り組みに対する自治町会の基本的なスタンス

- ❶ 高齢社会の進行が著しい現在、力を入れて取り組まなければならない新たな課題〔例えば、「ふれあいネットワーク」活動等〕の増加や、市民センターを中心とするまちづくり活動など、町会業務が以前に比べて過重化・複雑化するなかで、可能な限り役員、特に組長(自治委員)業務の軽減・簡素化を図る必要に迫られている。
- ❷ 現在町会が取り扱っている寄付・募金・集金業務だけでも10～11種類に及んでいるが、思想信条や生活実態の違いを超えて組織されている『住民自治組織』の今日的意義や役割及び活動の「あり様」に照らして、その業務の範囲はどこまでなのか。どこまでやるのが正しいのかを話し合い、判断する。
- ❸ この機会に、関係機関・団体に対して率直に問題提起し、時代の変化に即した自治町会運営の改革・改善の実現をめざす。

4 関係機関・団体への働きかけ（現在の到達点）

住民意識調査に始まった、一つの町の「小さな試み」は、今後どのような展開を見せるのかは分からないが、住民自らによる関係機関・組織への働きかけを通じて改革・改善を目指す第一歩が印されたことの意味は小さくないであろう。現時点では、要請等を行った先からの正式な回答はまだ届いていないが、この試みを通じて今後の「住民自治のあり様」をめぐる論議に素材提供できればと考えている。

◇校区市民センターに説明、理解と協力を要請 〈2009年1月〉

◇校区まちづくり協議会に説明、理解と協力を要請 〈2009年1月〉

◇当該自治区会会長に説明、理解と協力を要請 〈2009年1月〉

◇自治区会長から八幡東区長に対して、「集金業務の改廃について」の要望書提出

〈2009年2月〉

◇自治区会長から北九州市民共済生活協同組合理事長宛に「集金業務の変更について」の要望書提出 〈2009年2月〉

◇自治区会長（神社責任総代）から神社宮司宛に「集金業務の改廃について」の要望書提出 〈2009年2月〉

7 結びにかえて

住民意識調査の結果、自治町会や婦人会、老人クラブのみでなく、まちづくり協議会や市民センターに対する住民のニーズは、きわめて多様化していることが明らかになった。

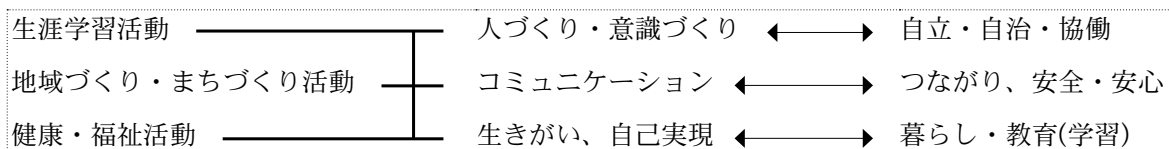
また、自治町会への認知度や帰属意識が年代や属性による多少の相違はあるにせよ、比較的高いのに対して、校区レベルの新しい組織『まちづくり協議会』については「存在すら知らない」と「関心がない」と答えた、何らの帰属意識も期待感も持っていない住民が42.1%にのぼることも判明した。

この結果が示す実態から、「住民が主人公の住民自治とは…」「住民の自立とは…」「住民と行政の協働のあり方とは…」など、住民自治の基本にかかる問題が問い直されているように感じるのだが、最後に「市民センター」と「まちづくり協議会」に関する私見を述べて結びに代えることにしたい。

1 市民センターの機能と役割

公民館⇒市民福祉センター⇒市民センターと変遷してきたなかで、現在の市民センターには、地域住民の自立したまちづくり活動の拠点という名目上の目的と、実際には行政施策実施の場という現実の実態とが交錯していると言えよう。

少子高齢化やコミュニティ崩壊の危機がいわれるなかで、地域の人たちが「人間らしく生きる」ために必要な課題は山積している。環境美化、防災・防犯、子育て支援、青少年の健全育成、健康づくりなど、取り組むテーマは尽きないが、これらを解決するためにも、公民館・市民福祉センター・市民センターと施設の名称が変わっても、そのいずれをも貫く基本的使命は次の三つであることに変わりはないはずである。



地域そのものや、そこに住む住民のアイデンティティの確立は自然発生的ではない。三つが互いに関係し合ったり、重なり合ったり補完し合いながら、住民一人一人が人間的な豊かさを追求でき、自己と他者との関係において「幸せな」生活を送る条件を創り出しながらコミュニティとしての要件「つながりのある関係」を醸成していく営み——その活動を保障し、条件整備し、拠点としての役割を果たしていくのが市民センターであると思う。

2 まちづくり協議会は「ツリー型」から「クラスター型」に移行を

住民意識調査の結果からも言えることは、現在の、既存住民組織を寄せ集め、再編した「ツリー型」組織では、どうしても突破し得ない限界があるのではないだろうか。

●クラスター型（ぶどうの房のような）ネットワークの中で「協議体」の活性化を図ると同時に

参加しているそれぞれの単位組織も独自性を発揮し、自由で闊達な活動を展開できるように保障する。多様な単位組織の活性化が「協議体」を充実させ、それがまた単位組織の活動を刺激し、支援するといった互酬的循環を生み出すことをめざすための改善策として提起したい。

- 現在の市のマニュアルは、上意下達のツリー型で、しかもそのツリーにぶら下がるのは実質的には「地域団体」と「官製団体」などに制限されている（学習集団や多様な市民団体は対象外）。

ひどい場合は、社会福祉協議会まで潰して自治区会・町内会の焼き直しというところもあり、それが住民意識調査に現れた「まちづくり協議会」への帰属意識の予測を超えた低さの大きな要因とも思われる。

- 当面の改善方法としては

(1) 過渡的な措置として、ツリーにぶら下がる対象を拡げるための具体策。

1. 団体・機関
 - (1) 地域団体（地縁団体）
自治会・町内会・婦人会・老人クラブ・子ども会 等
 - (2) 関係機関
学校・消防・警察・福祉施設 等
 - (3) 官製団体
社会福祉協議会・食生活改善推進協議会・青少年健全育成協議会・民生委員・児童委員協議会・健康づくり推進委員の会・男女共同参画推進委員の会・公園愛護会・河川愛護会 等
 - (4) 支援団体
学習集団・ボランティアサークル・各種テーマコミュニティ・PTA・NPO・各種市民団体 等
 - (5) その他の団体（校区の特性によっては次のような団体を「まち協」の構成員に加えることが必要）
農業協同組合〈例、両谷校区・上津役校区・島郷校区等〉・漁業協同組合〈例、新門司校区・若松・小倉北の一部〉・生活協同組合・商店組合〈例、中央町・魚町・祇園町・黒崎等〉・学園自治会〈例、北方・平野・折尾〉・団地自治会〈例、徳力等〉など
2. 個人
 - (1) 全ての住民（個人）に参加の自由と権利を
 - (2) 学識経験者

(2) クラスタ組織への移行

・学習会、話し合いを繰り返し、十分な合意形成を得たうえで…。

- 八幡東区E・K校区まちづくり協議会の組織構成 〈事例紹介〉

自治区会、婦人会、年長者クラブ連合会、民生委員・児童委員協議会、中学校父母教師会、小学校父母教師会、幼稚園父母教師会、駅前商店組合、クラブ連絡協議会、消防分団、年長者憩いの家運営委員会、公園愛護会連合会、食生活改善推進協議会、警察交番所、A少年補導委員、B少年補導委員、健康づくり推進員、まちづくり推進委員の会、「つぼみ」、「すみれ会」、ひまわり文庫図書ボランティア、子育てサポーター、市民センター

以上、23団体・機関・個人が対等・平等の立場で参画

●改善を拒む要因

- ①まちづくり・地域づくりの理念が狭隘（狭くて、かたくな）
- ②行政の思惑…影響力の及ぶ範囲に止めたい。
- ③地域総括補助金との関係（各単位組織の既得権益と再配分段階での矛盾を心配）

3 「豆腐型」から「納豆型」のまちづくりへ…個性とつながりを重視

●単位はどちらも「大豆」だが

- ・個を尊重し、その上に「つながり」を創る
- ・共同体 ⇒ 協働体 ⇒ 協働体 ⇒ 響動体
- ・人と人の関係を豊かにし、人と自然の関係を取り戻し、人と社会の関係を健康にする

4 住民の英知と成熟を育むまちづくりを担う「中核的住民組織」とは…

- (1) 「同化」なのか？…市総務市民局地域振興課（当時）が、平成15・16年度の市民センター館長研修で配布した資料で礼賛推奨。

※（本題からそれるが）…戦後初期、公民館などを中心に全国で進められた「地域おこし」「まちづくり」の命題の一つは「『同化』からの開放」であった。

- (2) 「ネットワーク」なのか？
- (3) 新たな「創造」なのか？

- ①課題で協働する「ゆるやかなネットワーク」の形成から…ここからスタートしないと行政主導になったり、地域ボス支配型になる危険性。
- ②地域ビジョンを持った「まちづくり計画」…学習と実践の反復で、住民組織自らが成長していく過程で、自主的に地域課題解決にむけた取り組みの中で、人・自然・文化・伝統・風土・企業・諸施設機能などを戦略的に活用した「まちづくり計画」を持つような力を養う視点を堅持する。
- ③政策決定・遂行機能を持った「包括的地域経営主体」の創出（それが「まちづくり協議会」という名称であってもよい）
 - 地域団体と官製団体、志縁団体等（クラスターの一粒・ひと粒）がそれぞれバラバラに存在したままでは、「地域力」の創出は困難。そこで目標や課題にむかって協働するネットワークの形成が必要に。
 - 地域の様々な課題に包括的、戦略的に対応し、地域経営の中核となる自立的な地域コミュニティ「包括的地域経営主体」の存立が理想的。
- ④「包括的地域経営主体」に必要な力量・能力
 - ・組織指導能力
 - ・政策立案能力
 - ・実践行動能力
 - ・行政・関係機関等との協働能力

- ・ 財政力
- ・ 広報力
- ・ 事務・実務能力

5 学びを基底に「まちづくりは人づくり」をコーディネートする市民センターの使命

(1) 生涯学習事業とのかかわりで

- ①生涯学習事業は、学習活動を通じて地域社会の形成者を育てる事業の一つであり、自らの地域を自らの力で創るという意識形成に寄与する。
- ②ふれあい活動を通じて築かれた助け合いのきずな、日常的に地域でつながり合うことによって地域コミュニティが人々の命や暮らしを支えてきた。
- ③地域の中での人と人とのつながりが、地域内で人・モノ・情報のネットワークを広め、ひいては地域の活力を高めることになり、それが地域においていくつもの「公共」を創り出す原動力となる。

(2) 地域コミュニティの創造的再生

- ①地域住民間に顔の見える関係の構築。
- ②自らの役割の自覚と支え合う雰囲気づくり。
- ③日常的な事業を通じてのコミュニケーションづくり。
- ④（例えば）避難訓練を含む防災に関する学習への取り組み。

(3) 市民センターのこうした取り組みが・・・

- ①より創造的な文化を地域に創出し、
- ②住民が「地縁」により結ばれるとともに、活動を通じた「知縁」「志縁」により、さらに強く、重層的に「つながり」合う。
- ③地域の機関や団体間の協働を強固なものにする。

町内会活動等に対するアンケートにご協力ください

中尾三丁目自治町会

中尾三丁目自治町会では、地域の自治活動を今まで以上に活性化して皆様のお役に立てるようにするために、お一人お一人のご意見や希望をアンケート方式により調査させていただくことにしました。今後の町内会運営に生かしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

- ◆答えていただくのは、1世帯1人ではなく成人の方全員です。例えば20歳以上の方が3人居られるご家庭では、各人それぞれが記入した3枚を提出して下さい。
- ◆組長さんを通じて2月15日(金)までにご提出下さい。
- ◆無記名で結構です。 ※ 右のページもありますので記入して下さい

1 あなたご自身についておたずねします。〈該当するものに○をつけてください〉

- (1) ①男性 ②女性
(2) ①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代 ⑦70歳以上

2 あなたは、中尾三丁目に町内会(自治町会)や婦人会・老人クラブがあることをご存知ですか。
〈1つだけ選んで○をつけて下さい〉

回答欄	1 知っている	4 関心がない
	2 知っているものもある	5 その他 ()
	3 知らない	

3 あなたは、自治町会の活動で何が重要だと思えますか。何に力を入れるべきだと思えますか。
〈いくつ○をつけても結構です〉

回答欄	1 道路やごみ問題など、日常の住民生活に密着した課題。
	2 少子高齢社会が抱える諸問題(例えば、子育て支援とか高齢者対策など)。
	3 住民同士が仲良くなり、連帯を強めるために親睦行事に力を入れる。
	4 地域や中尾三丁目独自の課題に取り組む。
	5 行政や関係機関との連携を密にし、協働事業の推進、情報の伝達等に力を入れる。
	6 町内会は会費の徴収、回覧板などの仕事をしていればよいので、それ以上は必要ない。
	7 その他 ()

4 あなたは、中尾三丁目の当面の課題は何だと思いますか。〈いくつ〇をつけても結構です〉

回答欄	1 高齢化が進み、高齢者が多くなっているため、きめ細かな支援のためのシステムづくり。 2 次代を担う子どもの問題。少子化社会での子育て支援等。 3 急な坂道が多いので対策が必要。 4 下水や道路・手すり設置など、住環境の改善。 5 違法駐車・犬のふん・ポイ捨てなど、マナーやモラルの問題。 6 住民同士の連帯意識の回復。支えあい、助け合う近隣関係。 7 バス便の増発など、公共交通手段の充実。 8 河川の浄化、自然保護、地球温暖化防止の啓蒙などの環境問題。 9 町内会・婦人会・老人クラブ活動の活発化。 10 その他 ()
-----	---

5 広報活動についておたずねします。〈それぞれ1つだけ選んでそれぞれの欄に〇をつけて下さい〉

回答欄	この欄に〇をつけるのではありません (右の3つの欄それぞれに)	市政だより	センターだより (たかつきだより)	町内会だより (向こう三軒両隣)
1	毎回よく読んでいる			
2	関心のある記事は読んでいる			
3	読んだり読まなかったりする			
4	ほとんど読まない			
5	まったく読んだことがない			
6	その他			

6 あなたは、「高槻市民センター」を利用していますか。〈1つだけ選んで〇をつけて下さい〉

回答欄	1 よく利用する。(毎週1回以上位) 2 まあ、まあ利用する。(月に1回程度) 3 必要なときだけ利用する。(大きなイベントや関心のある講演会等のときだけ) 4 ほとんど利用しない。(選挙の投票に行く程度) 5 一度も行ったことがない。 6 市民センターがあることを知らない。
-----	---

7 「高槻まちづくり協議会」についておたずねします。〈1つだけ選んで〇をつけて下さい〉

回答欄	1 まちづくり協議会の行事に参加したことがある。 2 まちづくり協議会の存在や活動は知っている。 3 まちづくり協議会に関心はあるが、参加するきっかけがない。 4 まちづくり協議会に関心がない。 5 まちづくり協議会の存在を知らなかった。
-----	---

- 8 中尾三丁目自治町会や婦人会・老人クラブに対する、あなたのご意見・ご希望等をお聞かせ下さい。

- 9 「市民センター」や「まちづくり協議会」に対する、あなたのご意見・ご希望をお聞かせ下さい。

※ 左のページも記入して下さい

ご協力ありがとうございました

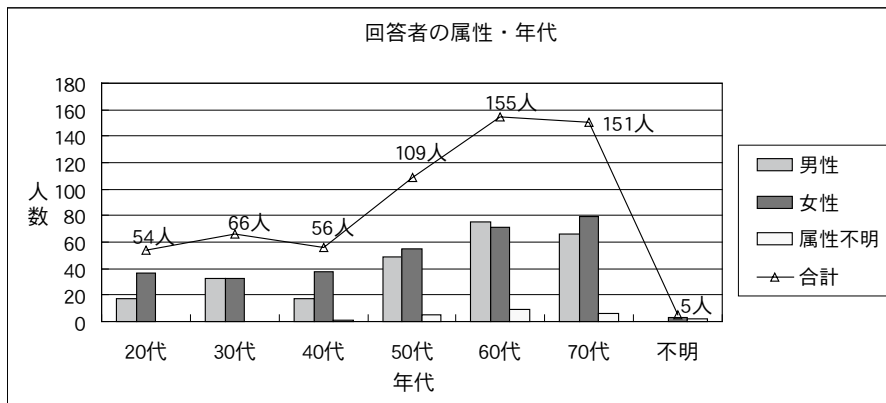
中尾三丁目自治町会 住民意識調査（アンケート集計）〈概要表〉

平成20年3月 中尾三丁目自治町会

設問1 回答者の属性・年代

	男		女		属性不明		合計		
	人数	男／%	人数	女／%	人数	不明／%	人数	男女／%	
20代	17	6.6	37	11.7			54	9.1	6位
30代	33	12.8	33	10.5			66	11.1	4位
40代	17	6.6	38	12.0	1	4.4	56	9.4	5位
50代	49	19.1	55	17.4	5	21.7	109	18.3	3位
60代	75	29.2	71	22.5	9	39.1	155	26.0	1位
70代以上	66	25.7	79	25.0	6	26.1	151	25.3	2位
年代不明		0.0	3	0.9	2	8.7	5	0.8	7位
合計	257	100.0	316	100.0	23	100.0	596	100.0	

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	%	%	%	%	%	%	%	%	
男性	17	33	17	49	75	66	0	257	2位
	31.5	50.0	30.4	45.0	48.4	43.7		43.1	
女性	37	33	38	55	71	79	3	316	1位
	68.5	50.0	67.9	50.5	45.8	52.3	60.0	53.0	
属性不明			1	5	9	6	2	23	3位
			1.8	4.6	5.8	4.0	40.0	3.9	
合計	54	66	56	109	155	151	5	596	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	



設問2 自治町会・婦人会・老人クラブの認知度

※ あなたは、中尾三丁目に町内会（自治町会）や婦人会・老人クラブがあることをご存知ですか。

男性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	
1. 知っている	5	19	13	43	67	57	0	204	1位
	29.4	57.6	76.4	87.8	89.4	86.4		79.4	
2. 知っているものもある	6	7	2	4	6	6	0	31	2位
	35.3	21.2	11.8	8.2	8.0	9.1		12.0	
3. 知らない	3	4	1	1	1	1		11	3位
	17.6	12.1	5.9	2.0	1.3	1.5		4.3	
4. 関心がない	2	2	1	1	1	2		9	4位
	11.8	6.1	5.9	2.0	1.3	3.0		3.5	
5. その他								0	
6. 不記入	1	1						2	5位
	5.9	3.0						0.8	
合計	17	33	17	49	75	66	0	257	
	100	100	100	100	100	100	0	100	

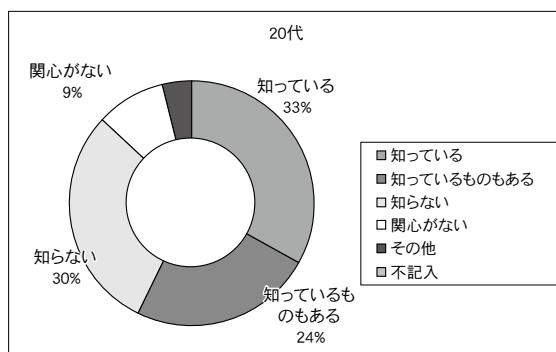
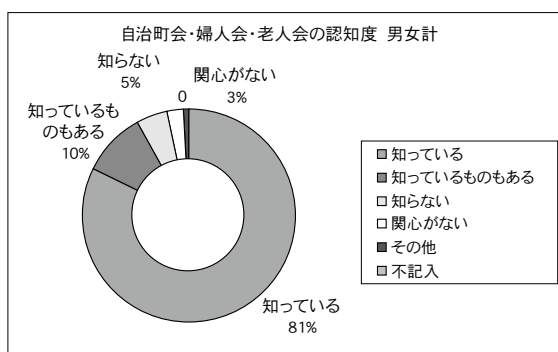
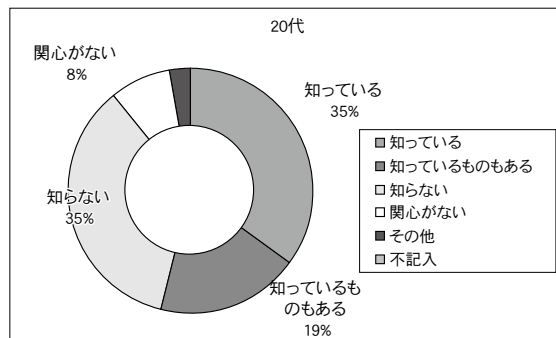
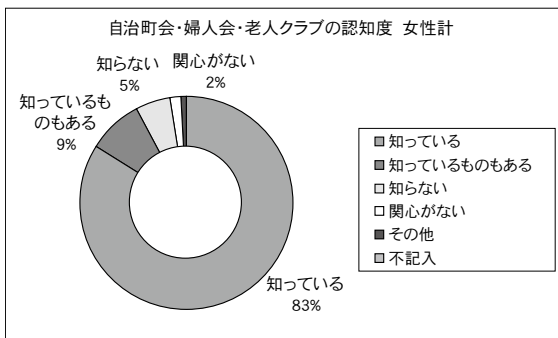
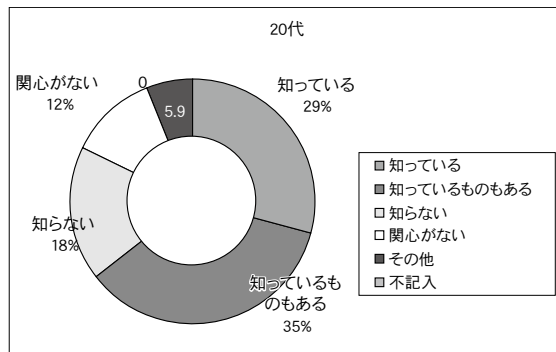
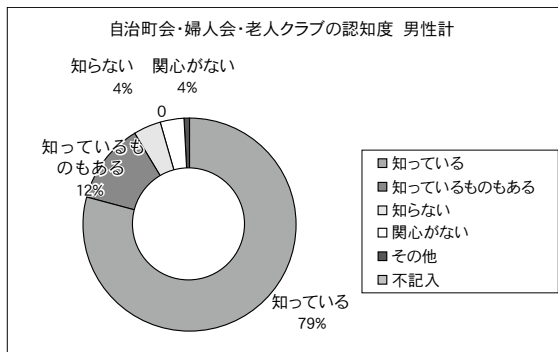
女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	
1. 知っている	13	20	35	53	66	75	3	265	1位
	35.2	60.6	92.1	96.4	93.0	94.9	100.0	83.9	
2. 知っているものもある	7	10	2	2	4	2	0	27	2位
	18.9	30.3	5.3	3.6	5.6	2.5		8.5	
3. 知らない	13	2			1			16	3位
	35.1	6.1			1.4			5.1	
4. 関心がない	3	1	1			1		6	4位
	8.1	3.0	2.6			1.3		1.9	
5. その他								0	
6. 不記入	1					1		2	5位
	2.7					1.3		0.6	
合計	37	33	38	55	71	79	3	316	
	100	100	100	100	100	100	100	100	

※属性不明のデータがありますが、この分の印刷は省きます。但し、下記の合計には入っています。

合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	
1. 知っている	18	39	49	100	142	138	5	491	1位
	33.3	59.1	87.5	91.7	91.6	91.4	100.0	82.4	
2. 知っているものもある	13	17	4	6	10	8	0	58	2位
	24.1	25.8	7.1	5.5	6.5	5.3		9.7	
3. 知らない	16	6	1	2	2	1	0	28	3位
	29.6	9.1	1.8	1.8	1.3	0.7		4.7	
4. 関心がない	5	3	2	1	1	3	0	15	4位
	9.3	4.5	3.6	0.9	0.6	2.0		2.5	
5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
6. 不記入	2	1	0	0	0	1	0	4	5位
	3.7	1.5				0.7		0.7	
合計	54	66	56	109	155	151	5	596	
	100	100	100	100	100	100	100	100	

設問2 自治町会・婦人会・老人クラブの認知度

ピックアップ グラフ化



設問3 自治町会の活動で何が重要と思いますか、何に力を入れるべきだと思いますか

(複数回答)

%は人数比

男性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	
1. 道路、ゴミ問題 %	8 47.1	22 66.7	12 70.6	30 61.2	53 70.7	48 72.7		173 67.3	1位
2. 少子高齢化 %	7 41.2	10 30.3	3 17.6	14 28.6	35 46.7	22 33.3		91 35.4	2位
3. 連帯、親睦行事 %	4 23.5	6 18.2	7 41.2	13 26.5	31 41.3	28 42.4		89 34.6	3位
4. 独自課題 %	3 17.6	3 9.1	7 41.2	15 30.6	14 18.7	22 33.3		64 24.9	4位
5. 行政協働 %	4 23.5	4 12.1		14 28.6	21 28.0	21 31.8		64 24.9	4位
6. 会費徴収、回覧板 %	2 11.8	1 3.0	2 11.8	6 12.2	6 8.0	7 10.6		24 9.3	6位
7. その他 %	2 11.8	4 12.1			1 1.3	4 6.1		11 4.3	7位
合計	件数 30	50	31	92	161	152		516	
	% 176.5	151.5	182.4	187.8	214.7	230.3		200.8	
	人数 17	33	17	49	75	66		257	

%は人数比

女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	
1. 道路、ゴミ問題	24 64.9	20 60.6	33 86.8	37 67.3	42 59.2	48 60.8	3 100.0	207 65.5	1位
2. 少子高齢化	12 32.4	17 51.5	18 47.4	25 45.5	39 54.9	38 48.1	3 100.0	152 48.1	2位
3. 連帯、親睦行事	5 13.5	4 12.1	4 10.5	19 34.5	19 26.8	41 51.9		92 29.1	3位
4. 独自課題	7 18.9	3 9.1	5 13.2	7 12.7	13 18.3	18 22.8		53 16.8	5位
5. 行政協働	5 13.5	7 21.2	5 13.2	12 21.8	10 14.1	17 21.5	1 33.3	57 18.0	4位
6. 会費徴収、回覧板	1 2.7	3 9.1	2 5.3	1 1.8	9 12.7	11 13.9		27 8.5	6位
7. その他	1 2.7	2 6.1	3 7.9			5 6.3		11 3.5	7位
合計	件数 55	56	70	101	132	178	7	599	
	% 148.6	169.7	184.2	183.6	185.9	225.3	233.3	189.6	
	人数 37	33	38	55	71	79	3	316	

※属性不明のデータがありますが、この分の印刷は省きます。但し、下記の合計には入っています。

%は人数比

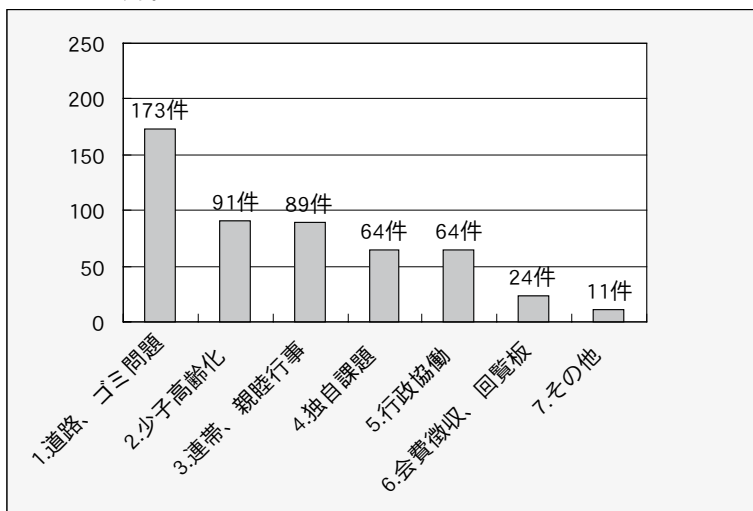
合 計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計		
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数		
	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%		
1. 道路、ゴミ問題	32	42	45	69	100	100	3	391	1 位	
	59.3	63.6	80.4	63.3	64.5	66.2	60.0	65.6		
2. 少子高齢化	19	27	21	39	80	63	3	252	2 位	
	35.2	40.9	37.5	35.8	51.6	41.7	60.0	42.3		
3. 連帯、親睦行事	9	10	11	33	52	70		185	3 位	
	16.7	15.2	19.6	30.3	33.5	46.4		31.0		
4. 独自課題	10	6	12	24	29	41		122	5 位	
	18.5	9.1	21.4	22.0	18.7	27.2		20.5		
5. 行政協働	9	11	5	27	33	39	1	125	4 位	
	16.7	16.7	8.9	24.8	21.3	25.8	20.0	21.0		
6. 会費徴収、回覧板	3	4	4	8	16	19		54	6 位	
	5.6	6.1	7.1	7.3	10.3	12.6		9.1		
7. その他	3	6	4		1	10		24	7 位	
	5.6	9.1	7.1		0.6	6.6		4.0		
合計	件数	85	106	102	200	311	342	7	1153	
	%	157.4	160.6	182.1	183.5	200.6	226.5	140.0	193.5	
	人数	54	66	56	109	155	151	5	596	

設問3 自治町会の活動で何が重要と思いますか、何に力を入れるべきだと思いますか

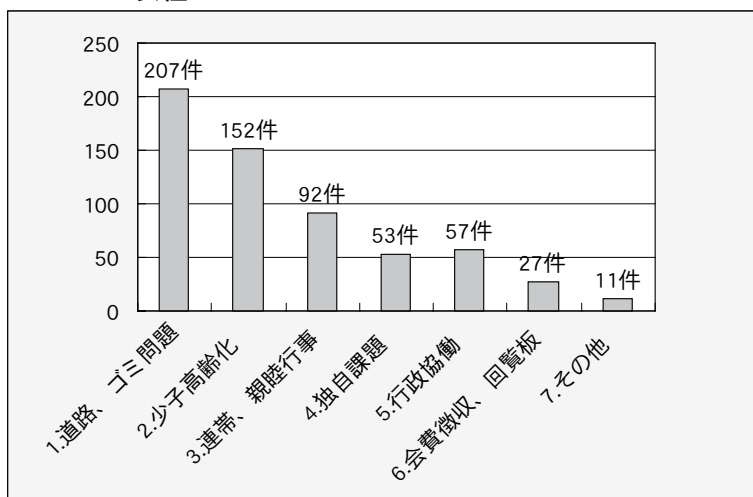
ピックアップ グラフ化

(複数回答)

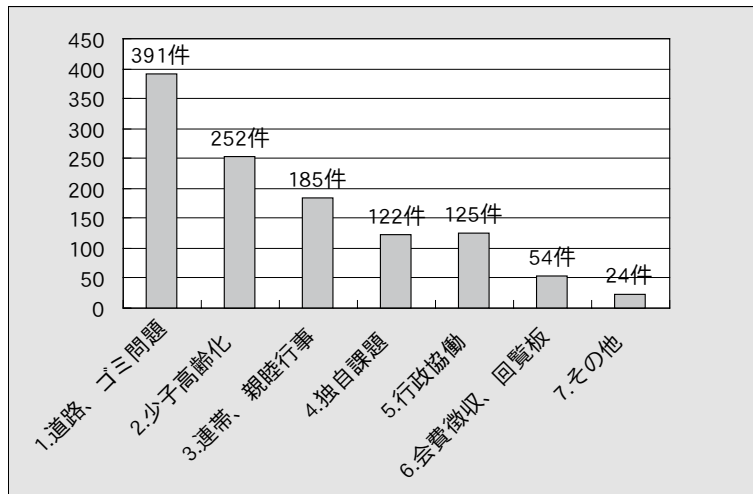
男性



女性



合計



設問4 中尾三丁目自治町の当面の課題は何だと思いますか

(複数回答)

男性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	
1. 高齢者支援	5	11	6	26	43	29		120	2位
	29.4	33.3	35.3	53.1	57.3	43.9		46.7	
2. 子供の問題、 少子化支援	5	11	2	6	13	8		45	7位
	29.4	33.3	11.8	12.2	17.3	12.1		17.5	
3. 坂道対策	5	16	4	24	40	37		126	1位
	29.4	48.5	23.5	49.0	53.3	56.1		49.0	
4. 下水、道路、 手すり設置	3	5	4	16	35	25		88	5位
	17.6	15.2	23.5	32.7	46.7	37.9		34.2	
5. マナー、モラル	5	9	8	22	21	41		106	4位
	29.4	27.3	47.1	44.9	28.0	62.1		41.2	
6. 連帯、近隣	3	4	4	8	27	25		71	6位
	17.6	12.1	23.5	16.3	36.0	37.9		27.6	
7. バス、交通	6	8	10	21	31	34		110	3位
	35.3	24.2	58.8	42.9	41.3	51.5		42.8	
8. 環境問題	3	5	1	5	10	12		36	8位
	17.6	15.2	5.9	10.2	13.3	18.2		14.0	
9. 組織活性化		1	1	1	13	10		26	9位
		3.0	5.9	2.0	17.3	15.2		10.1	
10. その他	2	4	2		3	4		15	10位
	11.8	12.1	11.8		4.0	6.1		5.8	
合計	件数	37	74	42	129	236	225	743	
	％	217.6	224.2	247.1	263.3	314.7	340.9	289.1	
	人数	17	33	17	49	75	66	257	

％は人数比

女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	
1. 高齢者支援	15	21	16	30	45	38	2	167	2位
	40.5	63.6	42.1	54.5	63.4	48.1	66.7	52.8	
2. 子供の問題、 少子化支援	6	13	8	5	13	16	2	63	7位
	16.2	39.4	21.1	9.1	18.3	20.3	66.7	19.9	
3. 坂道対策	13	18	17	28	35	41	1	153	3位
	35.1	54.5	44.7	50.9	49.3	51.9	33.3	48.4	
4. 下水、道路、 手すり設置	9	13	12	20	24	32	2	112	5位
	24.3	39.4	31.6	36.4	33.8	40.5	66.7	35.4	
5. マナー、モラル	12	7	17	26	33	47	2	144	4位
	32.4	21.2	44.7	47.3	46.5	59.5	66.7	45.6	
6. 連帯、近隣	7	7	5	19	21	27		86	6位
	18.9	21.2	13.2	34.5	29.6	34.2		27.2	
7. バス、交通	18	18	19	36	37	55	3	186	1位
	48.6	54.5	50.0	65.5	52.1	69.6	100.0	58.9	
8. 環境問題	3	5	2	8	8	17	1	44	8位
	8.1	15.2	5.3	14.5	11.3	21.5	33.3	13.9	
9. 組織活性化	1	2	2	6	6	14		31	9位
	2.7	6.1	5.3	10.9	8.5	17.7		9.8	
10. その他			1		3	3		7	10位
			2.6		4.2	3.8		2.2	
合計	件数	84	104	99	178	225	290	13	993
	％	227.0	315.2	260.5	323.6	316.9	367.1	433.3	314.2
	人数	37	33	38	55	71	79	3	316

※属性不明のデータがありますが、この分の印刷は省きます。但し、下記の合計には入っています。

%は人数比

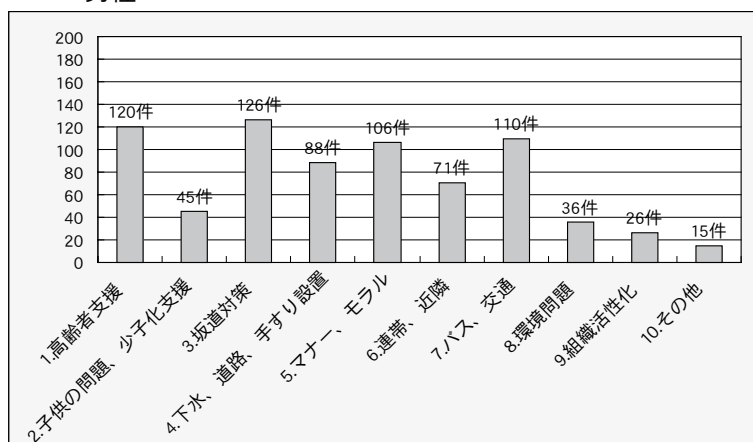
合 計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	
1. 高齢者支援	20	32	22	56	95	70	2	297	2位
	37.0	48.5	39.3	51.4	61.3	46.4	40.0	49.8	
2. 子供の問題、少 子化支援	11	24	10	11	29	25	3	113	7位
	20.4	36.4	17.9	10.1	18.7	16.6	60.0	19.0	
3. 坂道対策	18	34	21	54	79	80	1	287	3位
	33.3	51.5	37.5	49.5	51.0	53.0	20.0	48.2	
4. 下水、道路、手 すり設置	12	18	16	37	61	57	2	203	5位
	22.2	27.3	28.6	33.9	39.4	37.7	40.0	34.1	
5. マナー、モラル	17	16	26	52	59	92	2	264	4位
	31.5	24.2	46.4	47.7	38.1	60.9	40.0	44.3	
6. 連帯、近隣	10	11	9	28	48	53	1	160	6位
	18.5	16.7	16.1	25.7	31.0	35.1	20.0	26.8	
7. バス、交通	24	26	30	59	75	92	4	310	1位
	44.4	39.4	53.6	54.1	48.4	60.9	80.0	52.0	
8. 環境問題	6	10	3	13	19	30	1	82	8位
	11.1	15.2	5.4	11.9	12.3	19.9	20.0	13.8	
9. 組織活性化	1	3	3	7	19	24		57	9位
	1.9	4.5	5.4	6.4	12.3	15.9		9.6	
10. その他	2	4	3		6	7		22	10位
	3.7	6.1	5.4		3.9	4.6		3.7	
合計	121	178	143	317	490	530	16	1795	
	224.1	269.7	255.4	290.8	316.1	351.0	320.0	301.2	
	54	66	56	109	155	151	5	596	

設問4 中尾三丁目の当面の課題は何だと思いますか

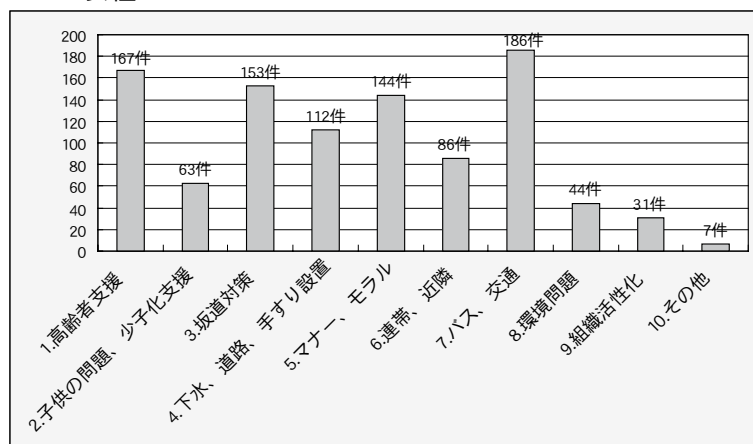
ピックアップ グラフ化

(複数回答)

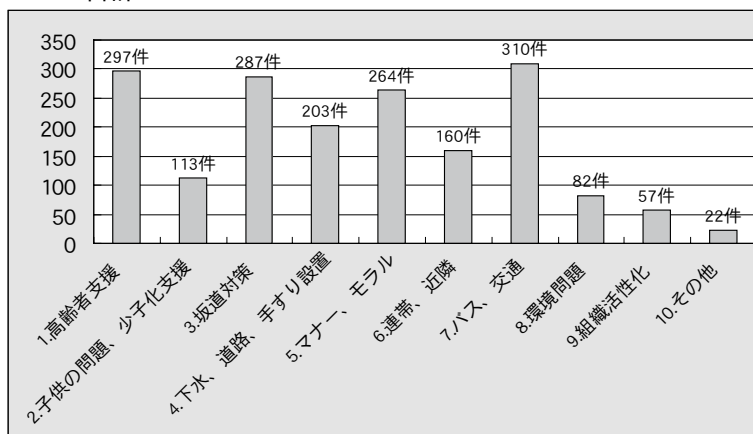
男性



女性



合計 (属性不明分含む)



設問5① 広報活動〔市政だより〕について

男性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	
1. 毎回良く読む	1	5	3	11	34	33		87	1位
	5.9	15.2	17.6	22.4	45.3	50.0		33.9	
2. 関心のある記事を読む	1	1	5	22	22	19		70	2位
	5.9	3.0	29.4	44.9	29.3	28.8		27.2	
3. 読んだり読まなかったり	3	8	5	7	11	5		39	3位
	17.6	24.2	29.4	14.3	14.7	7.6		15.2	
4. ほとんど読まない	7	10	3	3	4	3		30	4位
	41.2	30.3	17.6	6.1	5.3	4.5		11.7	
5. 全く読んだことがない	5	9	1	5	3	3		26	5位
	29.4	27.3	5.9	10.2	4.0	4.5		10.1	
6. その他				1	1	3		5	6位
				2.0	1.3	4.5		1.9	
合計	17	33	17	49	75	66	0	257	
	100	100	100	100	100	100	0	100	

女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	
1. 毎回良く読む	4	8	12	17	42	47	1	131	1位
	10.8	24.2	31.6	30.9	59.2	59.5	33.3	41.5	
2. 関心のある記事を読む	3	11	15	16	18	16	1	80	2位
	8.1	33.3	39.5	29.1	25.4	20.3	33.3	25.3	
3. 読んだり読まなかったり	12	8	9	17	8	11	1	66	3位
	32.4	24.2	23.7	30.9	11.3	13.9	33.3	20.9	
4. ほとんど読まない	12	6	2	5	1	3		29	4位
	32.4	18.2	5.3	9.1	1.4	3.8		9.2	
5. 全く読んだことがない	6	0	0	0	1	1		8	5位
	16.2				1.4	1.3		2.5	
6. その他					1	1		2	6位
					1.4	1.3		0.6	
合計	37	33	38	55	71	79	3	316	
	100	100	100	100	100	100	100	100	

※属性不明のデータがありますが、この分の印刷は省きます。但し、下記の合計には入っています。

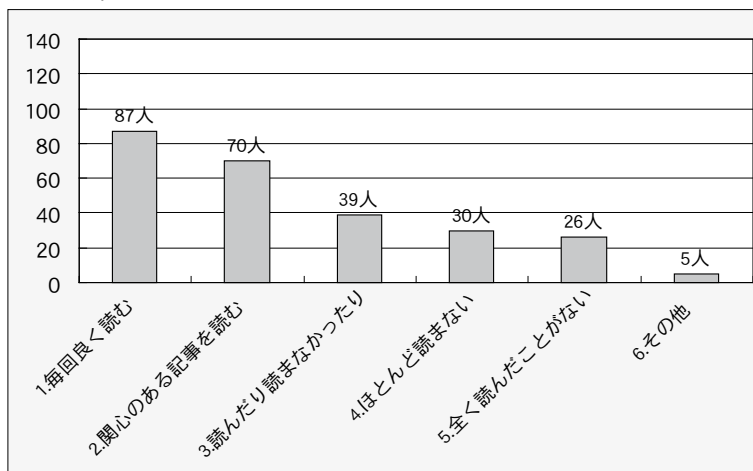
合計	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	
1. 毎回良く読む	5	13	15	32	80	83	2	230	1位
	9.3	19.7	26.8	29.4	51.6	55.0	40.0	38.6	
2. 関心のある記事を読む	4	12	20	39	42	35	1	153	2位
	7.4	18.2	35.7	35.8	27.1	23.2	20.0	25.7	
3. 読んだり読まなかったり	15	16	15	24	21	17	1	109	3位
	27.8	24.2	26.8	22.0	13.5	11.3	20.0	18.3	
4. ほとんど読まない	19	16	5	8	5	6	1	60	4位
	35.2	24.2	8.9	7.3	3.2	4.0	20.0	10.1	
5. 全く読んだことがない	11	9	1	5	5	5	0	36	5位
	20.4	13.6	1.8	4.6	3.2	3.3		6.0	
6. その他	0	0	0	1	2	5	0	8	6位
				0.9	1.3	3.3		1.3	
合計	54	66	56	109	155	151	5	596	
	100	100	100	100	100	100	100	100	

設問 5① 広報活動〔市政だより〕について

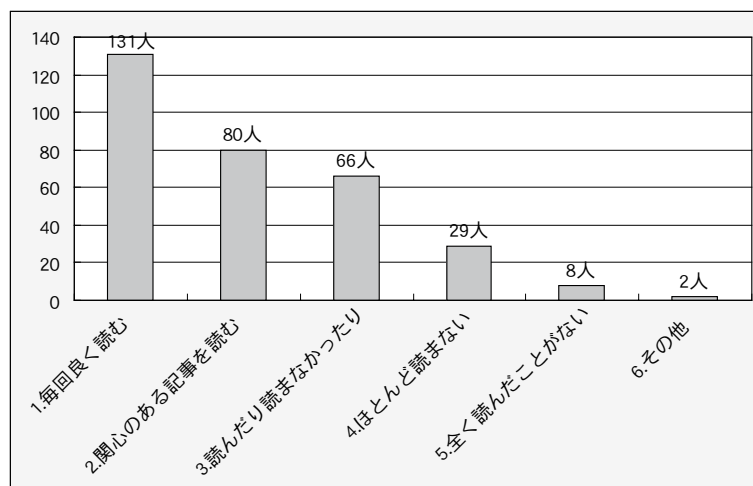
ピックアップ グラフ化

(複数回答)

男性

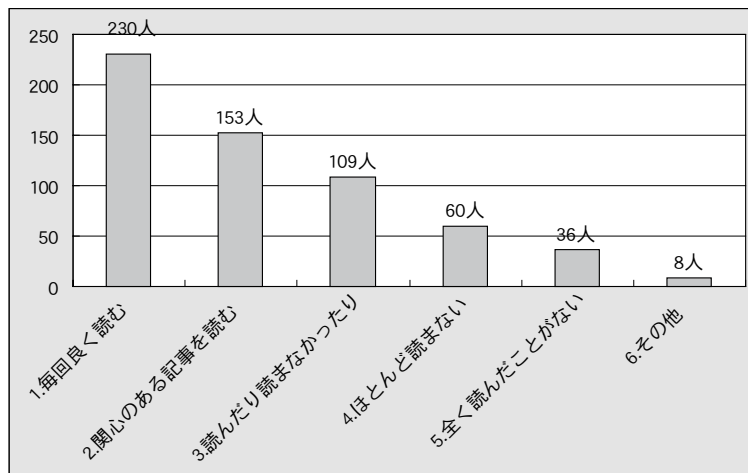


女性



合計

(属性不明分含む)



設問5② 広報活動〔市民センターだより〕について

男性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男/％	男/％	男/％	男/％	男/％	男/％	男/％	男/％	
1. 毎回良く読む	1	2	3	6	29	33		74	1位
	5.9	6.1	17.6	12.2	38.7	50.0		28.8	
2. 関心のある記事を読む		2	5	13	14	19		53	2位
		6.1	29.4	26.5	18.7	28.8		20.6	
3. 読んだり読まなかったり	1	6	4	17	18	5		51	3位
	5.9	18.2	23.5	34.7	24.0	7.6		19.8	
4. ほとんど読まない	8	12	3	7	6	3		39	4位
	47.1	36.4	17.6	14.3	8.0	4.5		15.2	
5. 全く読んだことがない	4	9	2	5	4	3		27	5位
	23.5	27.3	11.8	10.2	5.3	4.5		10.5	
6. その他	3	2		1	4	3		13	6位
	17.6	6.1		2.0	5.3	4.5		5.1	
合計	17	33	17	49	75	66		257	
	100	100	100	100	100	100		100	

女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	女/％	女/％	女/％	女/％	女/％	女/％	女/％	女/％	
1. 毎回良く読む	2	6	12	15	39	46	1	121	1位
	5.4	18.2	31.6	27.3	54.9	58.2	33.3	38.3	
2. 関心のある記事を読む	1	7	12	16	16	16	2	70	2位
	2.7	21.2	31.6	29.1	22.5	20.3	66.7	22.2	
3. 読んだり読まなかったり	10	6	8	15	11	8		58	3位
	27.0	18.2	21.1	27.3	15.5	10.1		18.4	
4. ほとんど読まない	14	11	5	7	2	2		41	4位
	37.8	33.3	13.2	12.7	2.8	2.5		13.0	
5. 全く読んだことがない	10	3	1	1		2		17	5位
	27.0	9.1	2.6	1.8		2.5		5.4	
6. その他				1	3	5		9	6位
				1.8	4.2	6.3		2.8	
合計	37	33	38	55	71	79	3	316	
	100	100	100	100	100	100	100	100	

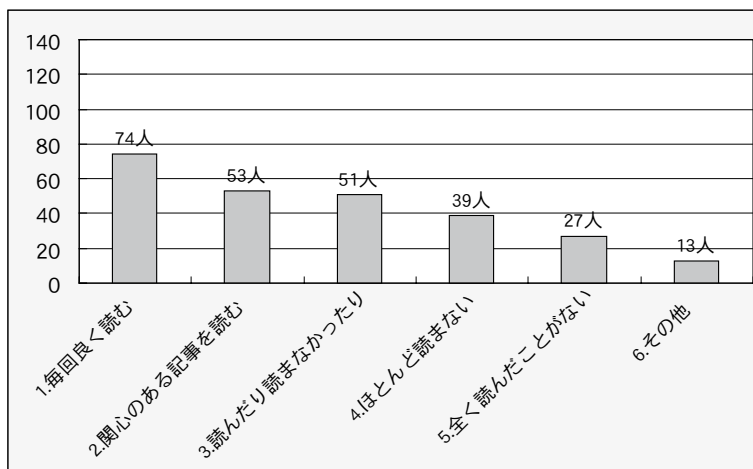
※属性不明のデータがありますが、この分の印刷は省きます。但し、下記の合計には入っています。

合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男女/％	男女/％	男女/％	男女/％	男女/％	男女/％	男女/％	男女/％	
1. 毎回良く読む	3	8	15	22	72	82	1	203	1位
	5.6	12.1	26.8	20.2	46.5	54.3	20.0	34.1	
2. 関心のある記事を読む	1	9	18	31	32	35	3	129	2位
	1.9	13.6	32.1	28.4	20.6	23.2	60.0	21.6	
3. 読んだり読まなかったり	11	12	12	34	31	14		114	3位
	20.4	18.2	21.4	31.2	20.0	9.3		19.1	
4. ほとんど読まない	22	23	8	14	8	5	1	81	4位
	40.7	34.8	14.3	12.8	5.2	3.3	20.0	13.6	
5. 全く読んだことがない	14	12	3	6	5	6		46	5位
	25.9	18.2	5.4	5.5	3.2	4.0		7.7	
6. その他	3	2		2	7	9		23	6位
	5.6	3.0		1.8	4.5	6.0		3.9	
合計	54	66	56	109	155	151	5	596	
	100	100	100	100	100	100	100	100	

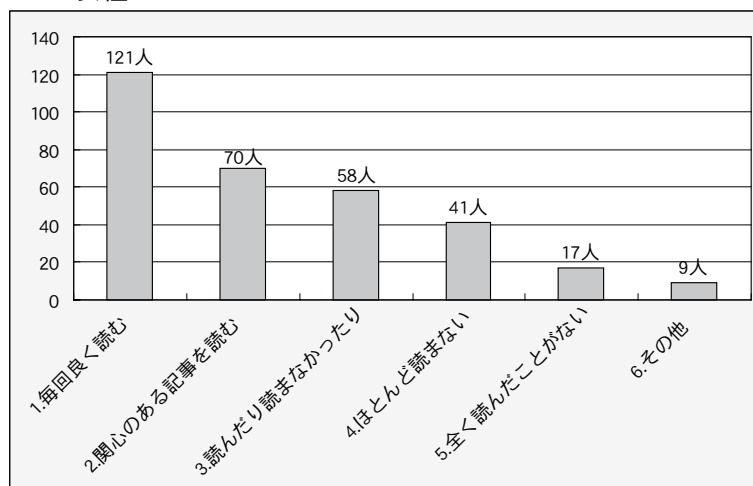
設問5② 広報活動〔市民センターだより〕について

ピックアップ グラフ化

男性

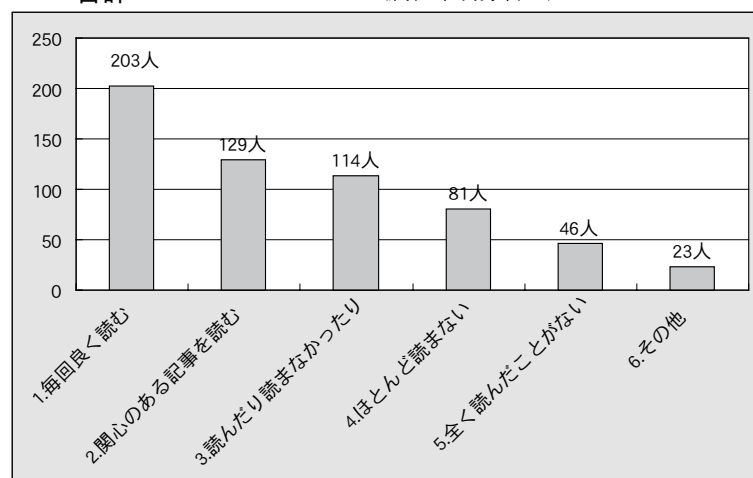


女性



合計

(属性不明分含む)



設問5③ 広報活動〔町内会だより（向こう三軒両隣）〕について

男性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	人数 男/％	
1. 毎回良く読む	1	3	5	10	34	36		89	1位
	5.9	9.1	29.4	20.4	45.3	54.5		34.6	
2. 関心のある記事を読む	2	2	4	13	16	13		50	2位
	11.8	6.1	23.5	26.5	21.3	19.7		19.5	
3. 読んだり読まなかったり		5	4	13	13	5		40	3位
		15.2	23.5	26.5	17.3	7.6		15.6	
4. ほとんど読まない	7	11	1	8	5	3		35	4位
	41.2	33.3	5.9	16.3	6.7	4.5		13.6	
5. 全く読んだことがない	4	11	3	4	4	3		29	5位
	23.5	33.3	17.6	8.2	5.3	4.5		11.3	
6. その他	3	1		1	3	6		14	6位
	17.6	3.0		2.0	4.0	9.1		5.4	
合計	17	33	17	49	75	66		257	
	100	100	100	100	100	100		100	

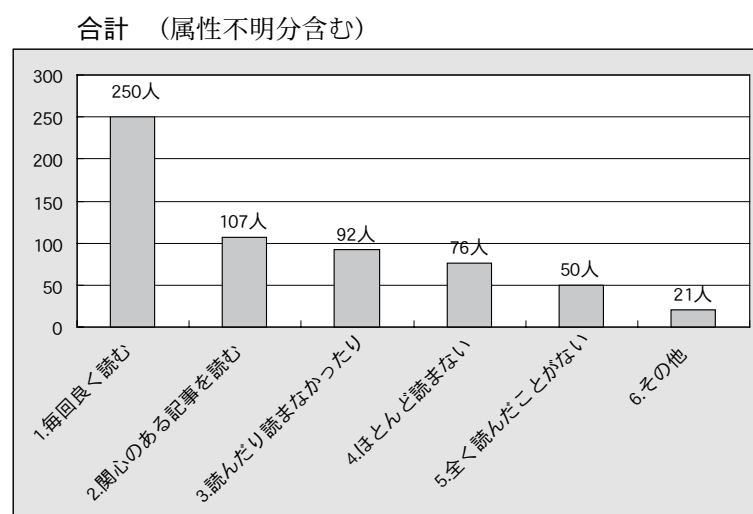
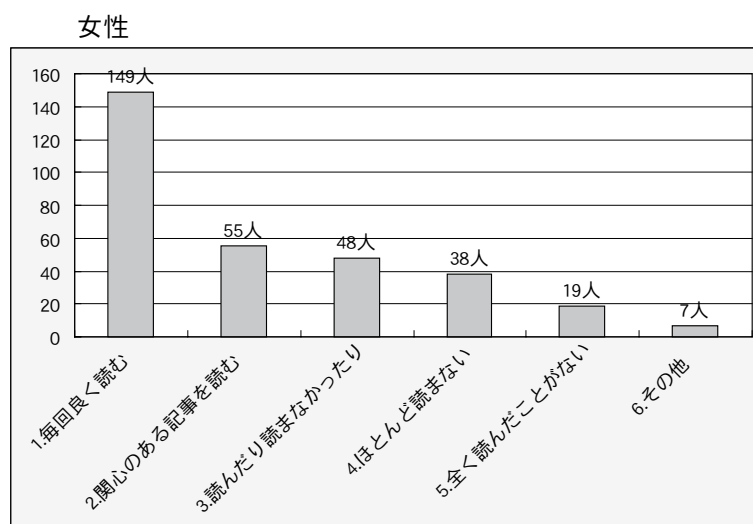
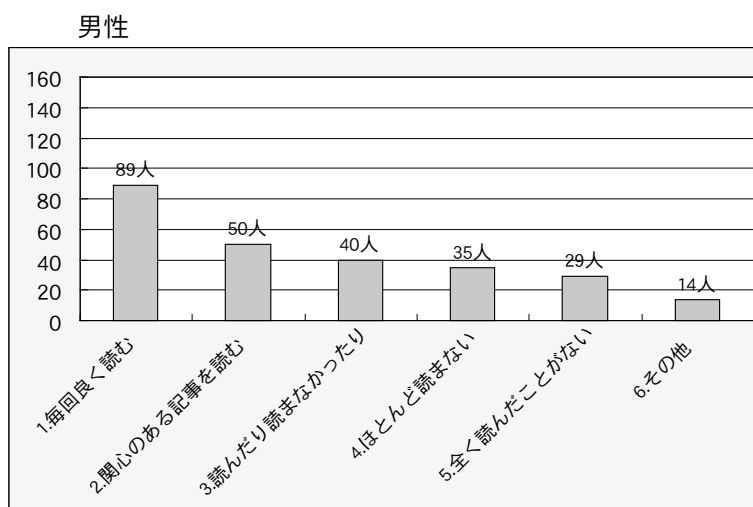
女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	人数 女/％	
1. 毎回良く読む	3	8	15	24	47	50	2	149	1位
	8.1	24.2	39.5	43.6	66.2	63.3	66.7	47.2	
2. 関心のある記事を読む	1	11	9	10	10	13	1	55	2位
	2.7	33.3	23.7	18.2	14.1	16.5	33.3	17.4	
3. 読んだり読まなかったり	9	2	8	15	7	7		48	3位
	24.3	6.1	21.1	27.3	9.9	8.9		15.2	
4. ほとんど読まない	14	8	4	5	4	3		38	4位
	37.8	24.2	10.5	9.1	5.6	3.8		12.0	
5. 全く読んだことがない	10	4	2	1		2		19	5位
	27.0	12.1	5.3	1.8		2.5		6.0	
6. その他					3	4		7	6位
					4.2	5.1		2.2	
合計	37	33	38	55	71	79	3	316	
	100	100	100	100	100	100	100	100	

※属性不明のデータがありますが、この分の印刷は省きます。但し、下記の合計には入っています。

合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数 男女/％	人数 男女/％	人数 男女/％	人数 男女/％	人数 男女/％	人数 男女/％	人数 男女/％	人数 男女/％	
1. 毎回良く読む	4	11	20	37	86	90	2	250	1位
	7.4	16.7	35.7	33.9	55.5	59.6	40.0	41.9	
2. 関心のある記事を読む	3	13	13	23	27	26	2	107	2位
	5.6	19.7	23.2	21.1	17.4	17.2	40.0	18.0	
3. 読んだり読まなかったり	9	7	13	29	21	13		92	3位
	16.7	10.6	23.2	26.6	13.5	8.6		15.4	
4. ほとんど読まない	21	19	5	14	10	6	1	76	4位
	38.9	28.8	8.9	12.8	6.5	4.0	20.0	12.8	
5. 全く読んだことがない	14	15	5	5	5	6		50	5位
	25.9	22.7	8.9	4.6	3.2	4.0		8.4	
6. その他	3	1		1	6	10		21	6位
	5.6	1.5		0.9	3.9	6.6		3.5	
合計	54	66	56	109	155	151	5	596	
	100	100	100	100	100	100	100	100	

設問 5③ 広報活動〔町内会だより（向こう三軒両隣）〕について

ピックアップグラフ化



設問6 校区市民センターを利用していますか

男性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	
1. よく利用する	1 5.9				9 12.0	5 7.6		15 5.8	4位
2. まあまあ利用 する		3 9.1			4 5.3	5 7.6		12 4.7	5位
3. 必要なときだ け	1 5.9	4 12.1	1 5.9	9 18.4	17 22.7	22 33.3		54 21.0	2位
4. 殆ど利用しな い	8 47.1	15 45.5	12 70.6	34 69.4	36 48.0	24 36.4		129 50.2	1位
5. 一度も行った ことがない	5 29.4	6 18.2	3 17.6	3 6.1	7 9.3	7 10.6		31 12.1	3位
6. 在ることを知 らない	1 5.9	4 12.1	1 5.9	3 6.1		1 1.5		10 3.9	6位
7. その他	1 5.9	1 3.0			2 2.7	2 3.0		6 2.3	7位
合計	17 100.0	33 100.0	17 100.0	49 100.0	75 100.0	66 100.0	0	257 100.0	

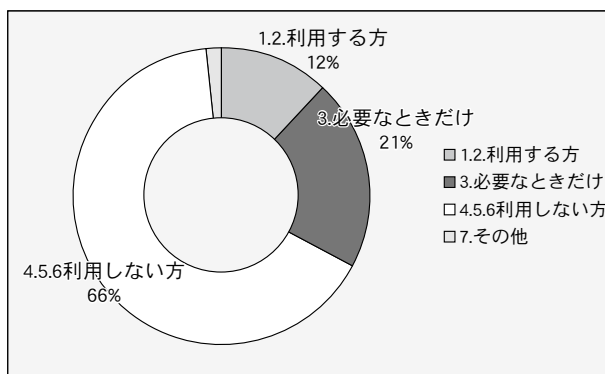
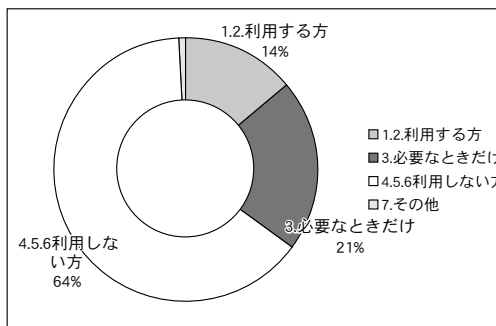
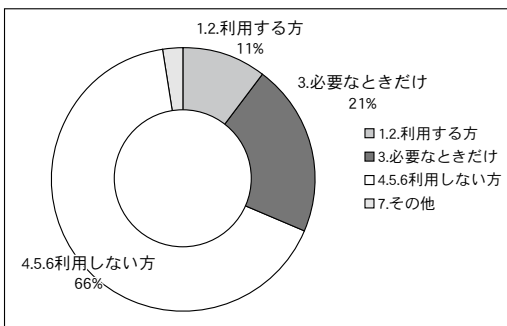
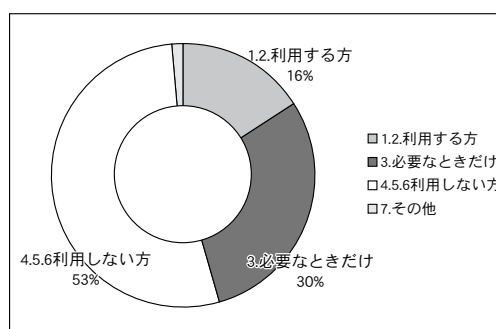
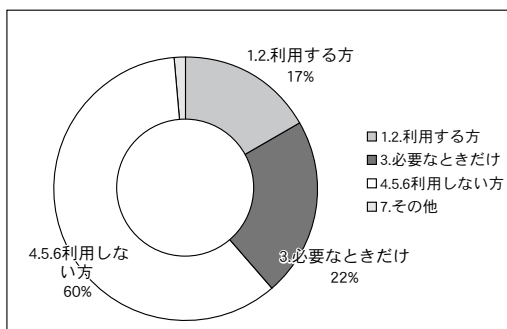
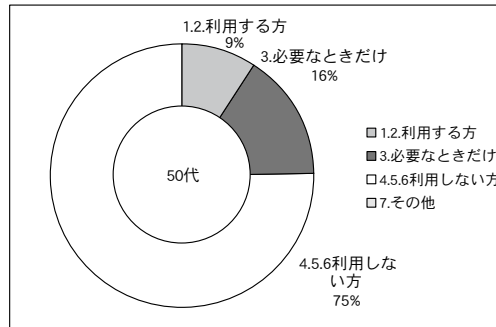
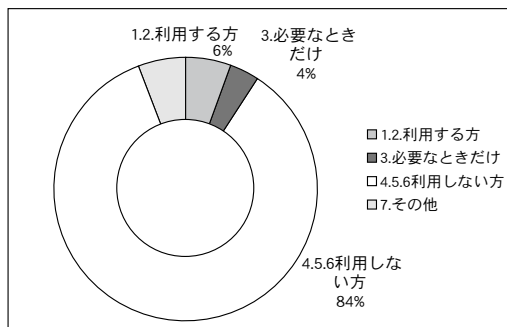
女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	
1. よく利用する		4 12.1	1 2.6	7 12.7	7 9.9	9 11.4	0	28 8.9	4位
2. まあまあ利用 する	2 5.4	0 0.0	2 5.3	3 5.5	5 7.0	4 5.1	0	16 5.1	5位
3. 必要なときだ け	1 2.7	9 27.3	10 26.3	7 12.7	16 22.5	23 29.1	1 33.3	67 21.2	2位
4. 殆ど利用しな い	13 35.1	15 45.5	25 65.8	35 63.6	37 52.1	35 44.3	2 66.7	162 51.3	1位
5. 一度も行った ことがない	19 51.4	2 6.1	0	3 5.5	6 8.5	6 7.6	0	36 11.4	3位
6. 在ることを知 らない		3 9.1				2 2.5		5 1.6	6位
7. その他	2 5.4							2 0.6	7位
合計	37 100.0	33 100.0	38 100.0	55 100.0	71 100.0	79 100.0	3 100.0	316 100.0	

※属性不明のデータがありますが、この分の印刷は省きます。但し、下記の合計には入っています。

合 計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	
1. よく利用する	1 1.9	4 6.1	1 1.8	7 6.4	17 11.0	14 9.3	0	44 7.4	4位
2. まあまあ利用 する	2 3.7	3 4.5	2 3.6	3 2.8	9 5.8	10 6.6	0	29 4.9	5位
3. 必要なときだ け	2 3.7	13 19.7	11 19.6	17 15.6	34 21.9	45 29.8	1 20.0	123 20.6	2位
4. 殆ど利用しな い	21 38.9	30 45.5	38 67.9	71 65.1	80 51.6	63 41.7	4 80.0	307 51.5	1位
5. 一度も行った ことがない	24 44.4	8 12.1	3 5.4	8 7.3	13 8.4	14 9.3	0	70 11.7	3位
6. 在ることを知 らない	1 1.9	7 10.6	1 1.8	3 2.8	0	3 2.0	0	15 2.5	6位
7. その他	3 5.6	1 1.5	0	0	2 1.3	2 1.3	0	8 1.3	7位
合計	54 100.0	66 100.0	56 100.0	109 100.0	155 100.0	151 100.0	5 100.0	596 100.0	

設問6 校区市民センターを利用していますか

ピックアップグラフ化



設問7 校区まちづくり協議会について

男性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	男/%	
1. 行事に参加 したことがある		2		4	14	16		36	4位
		6.1		8.2	18.7	24.2		14.0	
2. 存在、活動 を知っている	1	7	6	7	29	15		65	2位
	5.9	21.2	35.3	14.3	38.7	22.7		25.3	
3. 参加するき っかけがない	1	1	1	7	8	10		28	5位
	5.9	3.0	5.9	14.3	10.7	15.2		10.9	
4. 関心がない	2	10	0	9	12	13		46	3位
	11.8	30.3		18.4	16.0	19.7		17.9	
5. 存在を知ら ない	13	12	10	21	11	10		77	1位
	76.5	36.4	58.8	42.9	14.7	15.2		30.0	
6. その他		1		1	1	2		5	6位
		3.0		2.0	1.3	3.0		1.9	
合計	17	33	17	49	75	66	0	257	
	100	100	100	100	100	100		100	

女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	女/%	
1. 行事に参加 したことがある	1	3	5	7	18	10		44	5位
	2.7	9.1	13.2	12.7	25.4	12.7	0.0	13.9	
2. 存在、活動 を知っている	4	10	13	19	25	30	2	103	1位
	10.8	30.3	34.2	34.5	35.2	38.0	66.7	32.6	
3. 参加するき っかけがない	2	4	6	11	12	10		45	4位
	5.4	12.1	15.8	20.0	16.9	12.7		14.2	
4. 関心がない	7	7	9	7	6	15	1	52	3位
	18.9	21.2	23.7	12.7	8.5	19.0	33.3	16.5	
5. 存在を知ら ない	23	9	5	11	8	12		68	2位
	62.2	27.3	13.2	20.0	11.3	15.2		21.5	
6. その他					2	2		4	6位
					2.8	2.5		1.3	
合計	37	33	38	55	71	79	3	316	
	100	100	100	100	100	100	100	100	

※属性不明のデータがありますが、この分の印刷は省きます。但し、下記の合計には入っています。

合 計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	男女/%	
1. 行事に参加 したことがある	1	5	5	11	34	27	1	84	4位
	1.9	7.6	8.9	10.1	21.9	17.9	20.0	14.1	
2. 存在、活動 を知っている	5	17	20	28	57	46	3	176	2位
	9.3	25.8	35.7	25.7	36.8	30.5	60.0	29.5	
3. 参加するき っかけがない	3	5	7	19	22	20	0	76	5位
	5.6	7.6	12.5	17.4	14.2	13.2		12.8	
4. 関心がない	9	17	9	17	20	31	1	104	3位
	16.7	25.8	16.1	15.6	12.9	20.5	20.0	17.4	
5. 存在を知ら ない	36	21	15	33	19	23	0	147	1位
	66.7	31.8	26.8	30.3	12.3	15.2		24.7	
6. その他	0	1	0	1	3	4	0	9	6位
	0.0	1.5		0.9	1.9	2.6	0.0	1.5	
合計	54	66	56	109	155	151	5	596	
	100	100	100	100	100	100	100	100	

設問7 校区まちづくり協議会について

ピックアップ グラフ化

